

高知市男女共同参画推進
プラン 2021

令和4年度

年次報告書

市民協働部
人権同和・男女共同参画課

目 次

	ページ
はじめに，プラン2021の特徴，プラン2021体系図，プラン2021の進め方 . . .	1
指標の進捗状況，施策（基本目標）に対する取組状況	3
令和4年度高知市男女共同参画推進プラン2021事業一覧	5
【年次報告表】	
基本目標1 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	6
基本目標2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	7
基本目標3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	8
基本目標4 地域で，防災で，男女共同参画をすすめましょう	9
基本目標5 生涯にわたる健康生活を充実させましょう	10
全体に関すること	11
個別事業実施状況報告（点検シート）	12
数値報告	69
こうち男女共同参画センター（ソーレ）事業報告	75

はじめに

この年次報告書は、「男女がともに輝く高知市男女共同参画条例」及び「高知市男女共同参画推進プラン2021（以下「プラン 2021」）」に基づき、本市の男女共同参画の推進に関する施策の実施状況を明らかにするために作成したものです。実施状況の公表は、男女共同参画社会の実現に向けた効率的かつ効果の高い施策を展開するために、事業内容を市民にわかりやすく説明し、行政の透明性を高めていくことを目的としています。

男女共同参画社会を実現するためには、市民と行政が一体となって取り組む必要があります。そのためには、庁内各課がこれまで以上に男女共同参画の視点をもって取り組み、市民の皆さまの理解を深め、協力を得ることが不可欠です。

プラン 2021 の特徴

(1) 施策の実施状況報告に対する評価（点検）

「プラン 2021」の推進に当たっては、前年度の施策の実施状況の報告について、推進委員会の評価（点検）を受けます（評価は中間及び最終のみ）。

(2) 評価（点検）と公表

推進委員会による評価（点検）の結果は、毎年度公表します。

(3) 男女共同参画の視点の浸透

各施策における、男女共同参画の視点からの考え方を明確にし、その浸透を図ります。

(4) 女性活躍推進への取組

「女性活躍推進法」の市町村推進計画として「女性活躍推進法」及びその基本方針に基づいた取組を実施します。

プラン 2021 体系図

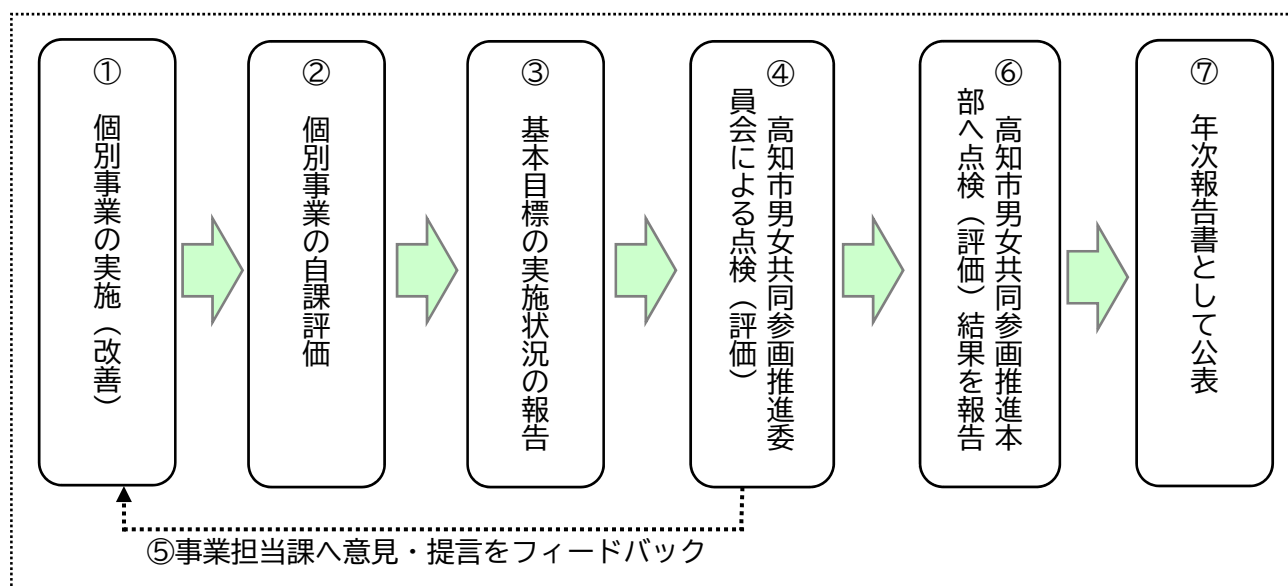
めざす将来像 **ジェンダー平等社会の実現**



基本目標		取組の方向性
1	一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	(ア) 多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消 (イ) 政策、方針決定過程における男女平等の促進
2	DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	(ア) DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実 (イ) DV・性犯罪等暴力の被害者への支援 (ウ) あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実
3	家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう (※「女性活躍推進法」推進計画)	(ア) ワーク・ライフ・バランスの推進 (イ) 育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充 (ウ) 女性活躍の推進
4	地域で、防災で、男女共同参画をすすめます	(ア) 地域活動における女性の参画の促進 (イ) 防災分野における女性の参画の促進
5	生涯にわたる健康生活を充実させましょう	(ア) あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援

プラン 2021 の進め方

「プラン 2021」の効果的な推進と進行管理のために、PDCA サイクルに基づき、取組の継続的な改善と推進を実施します。



① 個別事業の実施

前年度の取組状況及び高知市男女共同参画推進委員会の意見・提言を踏まえ、個別事業の概要及び活動指標(目標)を設定し、事業を実施します。

② 個別事業の自課評価

事業実施の翌年度に個別事業実施状況報告表にて、事業の報告及び自課評価を行います。

③ 基本目標の実施状況の報告

基本目標ごとに数値目標の達成状況等を取りまとめ、高知市男女共同参画推進委員会に報告します。

④ 高知市男女共同参画推進委員会による評価(点検) ※点数評価は中間と最終のみ

高知市男女共同参画推進委員会によるヒアリングを実施し、点検(評価)を行います。

⑤ 事業担当課へ意見・提言をフィードバック

高知市男女共同参画推進委員会の意見・提言を事業担当課へフィードバックします。
(事業担当課は翌年度の事業計画に反映させることを検討します。)

⑥ 高知市男女共同参画推進本部へ評価結果を報告

推進委員会による評価(点検)結果を高知市男女共同参画推進本部へ報告します。

⑦ 年次報告書として公表

年次報告表、個別事業の実施状況報告表等を取りまとめ公表します。

1 指標の進捗状況

高知市男女共同参画推進プラン2021では、ジェンダー平等社会の実現に向けて、5つの基本目標を掲げて取り組んでいます。各基本目標に対しては、17項目の指標を設定しています。各指標の進捗状況は次のとおりとなっています（表1）。

指標の進捗状況（表1）

基本目標	No	目標	基準値	令和4年度実績値	対前年比	目標値 (R7年度末)	担当課
1 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	1	市の審議会等で女性委員がない審議会数	13会(118会中) (R2)	13会(120会中)	-2会	0会	人権同和・男女共同参画課
	2	市職員の女性管理職(課長補佐以上)の割合	部長副部長 11.6% (R2)	部長副部長 9.5%	+0.6%	14%以上	人事課
			課長 14.1% (R2)	課長 21.6%	+2.5%	22%以上	
			課長補佐 42.4% (R2)	課長補佐 44.8%	-2.0%	45%以上	
	3	男女の地位が「平等」と回答した人の割合	各項目の数値は以下のとおり	—	—	増加	人権同和・男女共同参画課
			家庭生活 27.5% (R1)	—	—	35%以上	
			職場 25.9% (R1)	—	—	40%以上	
			学校教育 63.2% (R1)	—	—	75%以上	
			地域活動の場 46.2% (R1)	—	—	50%以上	
			政治の場 13.2% (R1)	—	—	20%以上	
			法律や制度上 32.5% (R1)	—	—	35%以上	
			慣習・しきたり 15.7% (R1)	—	—	25%以上	
			社会全体 15.3% (R1)	—	—	25%以上	
2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	4	DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合	65.1% (R1)	—	—	30%以下	人権同和・男女共同参画課
	5	DVを内容まで知っていると考えた人の割合	44.1% (R1)	—	—	70%以上	
	6	セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると考えた人の割合	43.0% (R1)	—	—	70%以上	
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を表現しましょう	7	待機児童数	26人 (R2,4)	3人	-8人	0人	保育幼稚園課
	8	高知市男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数	3社 (R2)	6社	-2社	毎年3社以上	人権同和・男女共同参画課
	9	高知市男性職員の育児休業取得率	9.9% (R1)	32.4%	+14.5%	36%以上	人事課
	10	高知市職員の技術職に占める女性の割合	9.4% (R2)	11.3%	-0.1%	15%以上	人事課
	11	社会資源「集いの場」状況	下記10項目の合計 630 (R1)	602	-8	705以上	—
		いきいき百歳体操(か所)	373か所(R1)	353か所	-10か所	—	基幹型地域包括支援センター
		子育てサークル・子育て支援サークル(登録団体数)	23団体(R1)	8団体	-3団体	—	子ども育成課
		地域子育て支援センター(か所)	14か所(R1)	16か所	+1か所	—	子ども育成課
		子育てサロン(か所)	18か所(R1)	18か所	0	—	高知市社会福祉協議会
		子どもの居場所・子ども食堂(か所)	36か所(R1)	40か所	+5か所	—	高知市社会福祉協議会
		サロン(か所)	86か所(R1)	84か所	-2か所	—	高知市社会福祉協議会
		認知症カフェ(か所)	23か所(R1)	29か所	+3か所	—	基幹型地域包括支援センター
		地域交流デイサービス【ミニデイ】(か所)	34か所(R1)	31か所	-3か所	—	高齢者支援課
		宅老所(か所)	22か所(R1)	22か所	0	—	高齢者支援課
		いきいき百歳大交流会(開催数)	1(R1)	1	+1	—	基幹型地域包括支援センター
4 地域で、防災で、男女共同参画をすすめてみましょう	12	自治会長に占める女性の割合	16.0% (R1)	14.1%	-1.3%	25%以上	人権同和・男女共同参画課
	13	防災士認定登録者に占める女性の割合	30.2% (R1)	34.1%	+3.2%	50%以上	防災政策課
5 生涯にわたる健康生活を充実させましょう	14	健康寿命(65歳の平均自立期間)	男性 17.47年 女性 20.97年	男性 17.68年 女性 21.89年	男性 +0.03年 女性 +0.50年	男性 18.27年 女性 21.77年	健康増進課
	15	子宮頸がん検診受診率	15.1% (R1)	16.1%	+1.9%	20%以上	健康増進課
	16	乳がん検診受診率	18.8% (R1)	19.0%	+1.7%	22%以上	健康増進課
	17	低出生体重児出生率(出生百対)	10 (H30)	9.8 (R2)	-1.3	9.4以下	母子保健課

2 施策（基本目標）に対する取組状況

令和4年度は、5つの基本目標に沿った取組として、20の担当課で57の個別事業を実施しました。（5ページ）。個別事業の取組状況については、事業担当課にて自己評価（点検・評価）を行っています（個別事業実施状況報告（点検シート）12～68ページ）。

令和4年度の事業担当課の自己評価をみると、評価A「目標達成」が26事業（45.6%）、評価B「目標を概ね達成」が23事業（40.4%）となり、評価Aと評価Bを合わせた割合は86.0%となっています（下表2）。

また、個別事業の取組状況については高知市男女共同参画推進委員会が評価（点検）を行い、各基本目標の進捗状況について意見・提言を行いました（6～11ページ）。

令和4年度の個別事業の取組状況（表2）

	A(目標達成)	B(概ね達成)	C(少し下回った)	D(大きく下回った)
基本目標1	9	4	1	0
	64.3%	28.6%	7.1%	0.0%
基本目標2	8	5	0	0
	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%
基本目標3	2	8	3	0
	15.4%	61.5%	23.1%	0.0%
基本目標4	4	1	2	0
	57.1%	14.3%	28.6%	0.0%
基本目標5	3	5	2	0
	30.0%	50.0%	20.0%	0.0%
全体	26	23	8	0
	45.6%	40.4%	14.0%	0.0%

高知市男女共同参画推進プラン2021 令和4年度事業一覧

～ めざす将来像「ジェンダー平等社会の実現」～

基本目標	取組の方向性	事業 No.	事業・取組	担当課	事業費 (千円)	合計 (千円)	関連する 数値 目標	数値目標
1 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	(ア) 多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	1	男女共同参画の日「8月1日」事業	人権同和・男女共同参画課	48	6,036	③	①市の審議会等で女性がない審議会数 13会→0会 ②市職員の女性管理職(課長補佐以上)の割合 部長 11.6% → 14%以上 課長 14.1% → 22%以上 課長補佐 42.4% → 45%以上
		2	広報・啓発と情報発信(市民等向け)	人権同和・男女共同参画課	5		③	
		3	広報・啓発と情報発信(庁内向け)	人権同和・男女共同参画課	125		③	
		4	多様な性のあり方を尊重する取組の推進	人権同和・男女共同参画課	0		③	
		5	レインボースクール	人権・こども支援課	167		③	
		6	学校における男女平等教育の推進	人権・こども支援課	0		③	
		7	健康教育(性に関する指導)の推進	学校教育課	0		③	
		8	市職員に対する研修	人事課	100		③	
		9	ソールにおける広報・啓発及び情報提供	ソール	5,464		③	
		10	男のセルフマネジメント講座	ソール	127		③	
	(イ) 政策、方針決定過程における男女平等の促進	11	審議会等の女性登用の推進	人権同和・男女共同参画課	0	424	①	③男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目) → 増加(社会全体 25%以上ほか全8項目)
		12	各役職段階に占める女性職員の割合の向上	人事課	0		②	
		13	女性リーダーの育成	ソール	424		③	
		14	政治分野への女性の参画に関する情報の提供・啓発	ソール	—		③	
2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	(ア) DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実	15	人権啓発の推進	人権同和・男女共同参画課	1,457	3,214	⑤	④DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合 65.1% → 30%以下
		16	DV防止啓発	人権同和・男女共同参画課	0		⑤	
		17	DV・デートDVに関する啓発及び情報提供	ソール	346		⑤	
		18	児童虐待予防推進事業	子ども家庭支援センター	837		⑤	
		19	情報モラル教育の推進	少年補導センター	574		⑤	
	(イ) DV・性犯罪等暴力の被害者への支援	20	人権全般における相談体制の充実	人権同和・男女共同参画課	48	702	④	⑤DVを内容まで知っているとした人の割合 44.1% → 70%以上
		21	DV等被害者支援ネットワーク会議の連携強化	人権同和・男女共同参画課	0		④	
		22	相談事業(DVに関するもの)	ソール	0		④	
		23	相談体制の充実	ソール	654		④	
	(ウ) あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実	24	ハラスメント防止研修	人事課	0	283	⑥	⑥セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っているとした人の割合 43.0% → 70%以上
		25	SOGI職員研修	人権同和・男女共同参画課	69		⑥	
		26	出前講座	ソール	58		⑥	
		27	性的少数者に関する電話相談	ソール	156		—	
3 家庭や実働現場においてジェンダー平等を実践しよう	(ア) ワーク・ライフ・バランスの推進	28	男女共同参画推進企業表彰	人権同和・男女共同参画課	20	192	⑧	⑦待機児童数 26人 → 0人 ⑧高知市男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数 3社 → 毎年3社以上
		29	男性職員の子育て参加の促進	人事課	0		⑧	
		30	「高知市労働ニュース」の充実・情報提供の拡充	産業政策課	9		—	
		31	男性対象家事の基礎講座の開催	ソール	163		—	
	(イ) 育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充	32	地域の子育て支援・子育て相談	子ども育成課	118,639	173,268	⑪	⑨高知市男性職員の育児休業取得率 9.9% → 36%以上 ⑩高知市職員の技術職に占める女性の割合 9.4% → 15%以上 ⑪社会資源「集いの場」状況 630 → 705以上
		33	ファミリー・サポート・センター事業	子ども育成課	12,767		—	
		34	多様な保育サービスの充実	保育幼稚園課	41,583		⑦	
		35	生活支援サービスの充実	基幹型地域包括支援センター	279		⑪	
	(ウ) 女性活躍の推進	36	高知市職員の技術職に占める女性の割合の向上	人事課	0	23,884	⑩	
		37	ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援	子育て給付課	6,154		—	
		38	雇用促進・就労支援	産業政策課	17,138		—	
		39	女性消防吏員増加に向けた取組	消防局総務課	0		—	
		40	女性のための就業支援講座	ソール	592		⑫	
4 地域で防災をすすめる	(ア) 地域活動における女性の参画の促進	41	地域コミュニティ再構築事業	地域コミュニティ推進課	7,448	7,857	⑫	⑫高知市における自治会長に占める女性の割合 16.0% → 25%以上 ⑬防災士認定登録者に占める女性の割合 30.2% → 50%以上
		42	スポーツ指導者の育成	スポーツ振興課	218		⑫	
		43	消防団の充実強化	消防局総務課	0		⑫	
		44	女性のチャレンジ・エンパワーメント支援	ソール	191		⑫	
	(イ) 防災分野における女性の参画の促進	45	避難所運営体制の整備	地域防災推進課	1,513	8,894	—	
		46	れんけいこうち防災人づくり塾	防災政策課	6,828		⑬	
		47	女性防災プロジェクト	ソール	553		⑬	
5 生涯にわたる健康な生活	(ア) あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援	48	さまざまな世代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等の開催	基幹型地域包括支援センター	28,845	149,649	⑭	⑭健康寿命(65歳の平均自立期間) 男性 17.47年/女性 20.97年 → 男性 18.27年/女性 21.77年 ⑮子宮頸がん検診受診率 15.1% → 20%以上 ⑯乳がん検診受診率 18.8% → 22%以上 ⑰低出生体重児出生率 10% → 9.4%以下
		49	生涯学習活動の促進	文化振興課	—		⑭	
		50	スポーツ推進事業	スポーツ振興課	1,381		⑭	
		51	がん検診	健康増進課	89,646		⑮⑯	
		52	成人歯周病検診	健康増進課	2,672		⑭	
		53	こころの相談窓口	健康増進課	262		⑭	
		54	思春期保健事業	母子保健課	0		—	
		55	妊娠・出産期等の支援	母子保健課	1,798		⑰	
		56	幼児健診	母子保健課	23,289		⑰	
		57	相談事業	ソール	1,756		⑭	

一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう

取組の方向性

(ア) 多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消

- ① 市民に向けてSOGIやジェンダー平等について広報・啓発を行います。
- ② 児童生徒の発達段階に応じた男女平等、男女共同参画についての教育を行います。
- ③ 家庭・職場・学校・地域で、ジェンダー平等の学習会・研修会等を実施します。
- ④ 市民意識調査を実施し、男女共同参画に関する実態把握を行います。
- ⑤ ソーレ等と連携し、積極的な情報提供、啓発活動を実施します。

(イ) 政策、方針決定過程における男女平等の促進

- ① 積極的に女性の登用を促すよう、庁内外に働きかけをしていきます。
- ② 女性が政治の場へ参画する一歩となるような人材育成に取り組みます。
- ③ ソーレ等と連携し、女性リーダー養成にむけた講座・研修会を実施します。
- ④ 政治分野への女性の参画に関する情報の提供・啓発を行います。

指標

【指標の現状値】

指標		計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】
市の審議会等で女性委員がいない審議会数		24会 〔138会中〕	15会 〔115会中〕	13会 〔120会〕	〔 会〕	〔 会〕	〔 会〕	0会以下 〔5会以下〕
市職員の女性管理職 (課長補佐以上)の割合	部長副部長	11.4%	8.9%	9.5%	%	%	%	14%以上 〔13%以上〕
	課長	15.7%	19.1%	21.6%	%	%	%	22%以上 〔19%以上〕
	課長補佐	39.2%	46.8%	44.8%	%	%	%	45%以上 〔44%以上〕
男女の地位が「平等」と回答した人の割合		社会全体 15.3% 他7項目	—	—	—	%	—	増加

個別事業

個別事業(No.1～14)の取組状況は12～25ページ

推進委員会からの意見・提言

地道な広報、研修などの方策に加え、次のような観点での取組も検討されたい。

- 1 子ども期の教育の重要性を念頭に置き、高知市立の学校、教育施設に対し、ジェンダー平等教育推進への協力依頼や情報提供等、必要な支援を積極的に行うこと。中核市である高知市のリーダーシップに期待する。
- 2 審議会委員に適した女性委員の育成、情報収集などの取組によって女性委員の登用をより強力に進めるとともに、登用された女性委員が少数派になることについての不安を解消できるような手立て(同時に複数の女性委員を登用するなど。)も講じていくこと。
- 3 政治分野、行政分野等の各分野において、男女共同参画実現に向けた取組を牽引できるような女性リーダーを長期的視点で養成する方策の充実・強化。

DVやハラスメントのない社会をつくりましょう

取組の方向性

(ア) DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実

- ① 人権尊重の意識を高めるよう、関係機関と連携し、予防啓発を行います。
- ② 若年層を対象としたDV防止等の啓発を強化していきます。

(イ) DV・性犯罪等暴力の被害者への支援

- ① 相談窓口の周知を図ります。
- ② 関係機関との連携を強化し、DV等暴力の被害者が安心して相談、支援を受けられる体制を充実していきます。

(ウ) あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実

- ① ハラスメントを正しく理解するための広報・啓発を行います。
- ② 相談窓口の周知を含めた相談体制を充実させます。
- ③ 市職員等を対象とした各種ハラスメント研修を実施します。

指標

【指標の現状値】

指標	計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】
DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合	65.1%	—	—	—	%	—	30%以下 【—】
DVを内容まで知っていると感じた人の割合	44.1%	—	—	—	%	—	70%以上 【—】
セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると感じた人の割合	43.0%	—	—	—	%	—	70%以上 【—】

個別事業

個別事業(No.15～27)の取組状況は26～38ページ

推進委員会からの意見・提言

DVやハラスメントに関する情報へのアクセスを容易にする方策として、ITを駆使する情報発信やオンライン研修などの取組が進められており、その成果が出てきていることは評価できる。想定される被害者の中には、声をあげられない人も多く含まれていると考えられる。このような被害者にも届くことを念頭に置き、今後も取組を進めていただきたい。

また、このような啓発事業に加え、相談、支援体制をより一層充実させ、広く周知していく方策についても引き続き工夫されたい。

家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう

取組の方向性

(ア) ワーク・ライフ・バランスの推進

- ① 男性の家事・育児・介護への参画を促進・支援します。
- ② 市の男性職員の育児休業等の取得率の向上をめざします。
- ③ 労働者の意識改革につながる働きやすい職場環境づくりを支援します。

(イ) 育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充

- ① 男性も女性も子育てしながら、仕事との両立を図ることができるよう、多様な保育サービスの充実を図ります。
- ② 子育て支援体制の充実を図ります。
- ③ 介護をとりまく環境整備を支援します。

(ウ) 女性活躍の推進

- ① 職業能力の開発のための講座や、再就職のための就労相談を行います。
- ② ひとり親家庭の相談及び就業による自立を支援します。
- ③ 市の女性職員の職域拡大を推進します。

指標

【指標の現状値】

指標	計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】
待機児童数	34人	11人	3人	人	人	人	0人 【10人以下】
高知市男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数	3社	8社	6社	社	社	社	毎年3社以上 【毎年3社以上】
高知市男性職員の育児休業取得率	9.9%	17.9%	32.4%	%	%	%	36%以上 【22%以上】
高知市職員の技術職に占める女性の割合	9.1%	11.4%	11.3%	%	%	%	15%以上 【12%以上】
社会資源「集いの場」状況	630	610	602				705以上 【675以上】

個別事業

個別事業(No.28～40)の取組状況は39～51ページ

推進委員会からの意見・提言

家事、育児、看護、介護については女性が担うものという古い固定的性別役割意識がいまだ残っており、男女が同じように働いても、職場におけるキャリア形成に事実上の男女差が生じ、さらには、昇進に向けた女性の意欲の喪失につながるという状況がある。このことがジェンダー平等の達成のみならず、社会における人材の豊かさや働きやすさを阻害しているとの問題意識を持ち、改善に向けた取組を進めていくべきである。家事・子育て・介護等は夫婦が同じように担うものという、職場風土、社会風土の形成に向けた全階層向けの教育体制、研修体制の充実を目指していく必要がある。

また、特に女性が少ないとされる技術系分野については、高知市の技術系職員と委託先企業が、技術系にかかわる人材の多様性の課題と、技術系男性のワーク・ライフ・バランスの課題を共有し、その解決に向けて一緒に議論することなども考えられる。そのことは、ジェンダー平等の達成はもちろん、高知市の技術職の人材の豊かさや働きやすさにつながるのではないかと。

4 地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう

取組の方向性	(ア) 地域活動における女性の参画の促進 ① 男女を問わず、幅広い世代の市民の参画により、地域活動等の活性化を支援します。 ② ソーレ等と連携し、地域や社会活動における女性リーダーを育成するための講座等を開催します。							
	(イ) 防災分野における女性の参画の促進 ① 女性の視点による防災対策を強化します。 ② 防災に関する地域の女性リーダーの育成・増加を図ります。							
指標	【指標の現状値】							
	指標	計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】
	自治会長に占める女性の割合	13.7%	15.4%	14.1%	%	%	%	25%以上 【22%以上】
	防災士認定登録者に占める女性の割合	30.2%	30.9%	34.1%	%	%	%	50%以上 【40%以上】
個別事業	個別事業(No.41～47)の取組状況は52～58ページ							

推進委員会からの意見・提言

女性防災プロジェクトのような動きは、全国的にも珍しく、高く評価できる一方で、男性が地域の防災活動の中心を担う場面はまだ多い。男女とも、地域や防災活動に支障なく参加しやすいような環境を整備していくことが必要である。具体的には、学校などに働きかけて、地域の防災活動に若年層を誘い込むことで性別のバランスを改善する方策が考えられる。

また、自主防災組織や自治会長といった地域の指導的地位に占める女性の割合を調査して数値目標を設定するとともに、その割合が低いという現状を強力に転換していく方策として、性別、年齢層などの複数の観点から多様な参画を実現している組織(地域・防災組織)に補助金配分で重点支援をしていくことも考えられる。

このような実効性ある取組を進めていくことで、地域・防災分野においても女性リーダーの育成が進むことが期待される。

基本目標

5 生涯にわたる健康生活を充実させましょう

取組の方向性

(ア) あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援

- ① さまざまな世代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等を開催します。
- ② 男女ともに健康を保持・増進することができるよう、支援活動を行います。
- ③ こころの健康づくりについて普及・啓発を行います。
- ④ 心身の発育・発達と性に関する教育を行います。
- ⑤ 女性特有のがん検診受診率向上に向けた取組を行います。
- ⑥ 妊娠期から子育て期に至るまでの切れ目ない支援を行います。

指標

【指標の現状値】

指標	計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】
健康寿命(65歳の平均自立期間)	男性17.47年 女性20.97年	男性17.65年 女性21.39年	男性17.68年 女性21.89年	男性 年 女性 年	男性 年 女性 年	男性 年 女性 年	男性18.27年 女性21.77年 【男性17.71年 女性21.21年】
子宮頸がん検診受診率	15.1%	14.2%	16.1%	%	%	%	20%以上 【17%以上】
乳がん検診受診率	18.8%	17.3%	19.0%	%	%	%	22%以上 【20%以上】
低出生体重児出生率(出生百対)	10.0 (H29)	11.1 (H31)	9.8 (R2)				9.4以下 【9.5以下】

個別事業

個別事業の取組状況(No.48～57)は59～68ページ

推進委員会からの意見・提言

出産・育児については色々なサポートや休暇も知られていて活用しやすくなってきているが、介護に当たる職員のための諸制度についてもより一層の充実を求める。

また、生涯にわたる健康生活の充実のためには、競技スポーツだけでなく、誰もが気軽に行うことができるウォーキング等で健康を保持・増進することが効果的である。通勤・通学、日常の散歩においても歩道は必須であるので、女性や高齢者、子どもなどが安心して歩くことのできる幅のある平坦な歩道の整備等「安心して歩けるまちづくり」をぜひ目指してほしい。

全体に関すること

推進委員会からの意見・提言

〔目標の明確化, シンプル化について〕

・ 目標項目が多すぎるとその重要性や責任が曖昧になり, 目標未達の原因がつかみづらくなるのでは考える。5年, 10年事業を継続的に推進し, 目標未達のないように努力すべきである。

・ 男女共同参画について, 私は男女平等の実現と認識していた。今回説明を受け, 資料を読んで, 広義に解釈すれば何にでも当てはまるものだとして再認識した。様々な人権課題に取り組む中で男女共同参画としての目標がぼやけることを懸念する。

・ 何のためにその事業を行っているか, その実際の効果検証に注力できればもっと良いものになっていくと思われる。

〔評価対象事業の絞り込みについて〕

・ 全庁をあげてジェンダー平等を意識した取組は重要だと思うが, 市役所の恒常業務として当然やるべき事項と, 男女共同参画推進プラン「ジェンダー平等社会の実現」のために, 特に重点的に取り組む目標を区別しても良いのではないかな。

・ 様々な経緯で絞り込まれてきた事業数ではあるが, カテゴリを整理して「戦略的に展開する事業」に絞り込んでもよいのではないかな。

〔重点項目について〕

◎ 高知市役所における実現

・ 幹部職員への女性登用等, 市として方針決定しているので, 様々な課題はあると思うが, 市だけで実施できることは早急に実現してほしい。

・ 庁内向け, 庁外向け, 児童・生徒向けの事業を区分しても良いのではないかな。庁内向けの目的は, 市民の模範となる体制を構築すること。児童・生徒向けは将来の大人に対する早期の啓発である。一番難しいのは庁外の成人によって構成されている社会であるが, 企業ごとの事情もあり, 簡単ではないと思う。これら3分野を同時進行するのではなく, 手を付けやすい庁内の体制及び意識改革と児童・生徒向け啓発活動でまずは目に見える成果を出していく, というように進めることについて考えてはどうか。

◎ 学校での教育体制の充実

・ 教育が果たす役割は大きい。学校への出前授業も大事だが, 意欲ある教員を募り, 育成することも考えては。女性防災プロジェクト(事業No.47)のような, 教員の中にジェンダーのエキスパートを育成していくことも重要と考える。

・ ジェンダー平等社会の実現には学校における教育が重要であるが, 十分な授業時間が確保できない状況で, どのようにして子どもたちに理解させ, 行動できる人間への成長につなげるかが課題。学校でも家庭でもこの分野の教育に熱心になっていくための強力な仕組みが必要ではないかな。

〔その他〕

・ 選択的夫婦別姓が社会問題として議論されている中においては, 委員委嘱書についても旧姓の使用が認められるべきと考える。ジェンダー平等を推進していく高知市として多様性の視点から検討を求めたい。

高知市男女共同参画推進プラン

2021 令和4年度

個別事業実施状況報告

(点検シート)

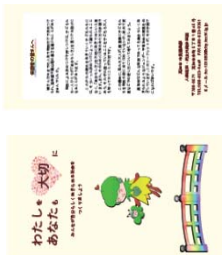
高知市男女共同参画推進プラン2021 令和4年度 個別事業実施状況報告(点検シート)

※ 点検シートの見方

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
基本目標	取組の方向性	◆ 具体的取組(工夫や配慮した点等)		◆ 検証(達成状況、その要因)		◆ 対応(改善、今後どのようにするか)		
	1	ア	事業名 No. 1 男女共同参画の日「8月1日」事業	・8月1日「高知市男女共同参画の日」に関連した事業を実施した。 ①啓発作品応募数 480点 (11冊:470点, 写真:10点) ②男女共同参画推進表彰企業 6社 ③パネル展開催(7月27日～8月12日, 会場:市役所本庁舎) ④図書企画展開催(8月2日～8月31日, 会場:オートピア高知図書館)		・男女共同参画の目表彰作品を効果的に啓発に活用し、男女共同参画やジェンダー平等への関心を高めることができるよう年代に応じた情報発信に努める。		
	一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	◆ 事業(概要) 8月1日の「高知市男女共同参画の日」に関連した啓発事業を実施する。 ・啓発作品募集 ・パネル展示及び図書企画展 ・横断幕設置 ※ 8月1日は昭和58年に本市に初めて婦人(女性)担当を配置した日。		R3 R4 R5 R6 R7		【事業の評価】 A・・・100%以上(目標達成) B・・・80～100%未満(目標を概ね達成) C・・・60～80%未満(目標を少し下回った) D・・・60%未満(目標を大きく下回った)	
		一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	◆ 男女共同参画の視点からの目的 広報・啓発を通じて、条例の理念及び「高知市男女共同参画の日」の周知を図るとともに、固定的な役割分担意識の解消を図り、男女共同参画に関する意識調査で「平等」と回答する市民の割合を増やすため男女共同参画推進について広報・啓発を行う。	◆ 活動指標(目標) ・男女共同参画推進に関する啓発作品応募数 300点以上を維持する。		R3 R4 R5 R6 R7		★男女共同参画の視点からの目的 事業の企画・立案・実施にあたり以下の視点を取り入れている。 【条例の基本理念(第3条から要約)】 (1) 男女の人権の尊重 (2) 社会制度・慣行が及ぼす男女の社会活動の選択に対する影響への配慮 (3) 施策又は方針の立案及び決定に共同して参画する機会の確保 (4) 家庭生活における活動と職場や地域等における活動の両立 (5) 男女の性と生殖についての相互理解・尊重と生涯にわたる健康生活の維持 (6) 男女共同参画の推進に関する国際社会の動向への留意及び協調 (7) 市民一人ひとりの主体的な取組
事業費の決算額 ※費用が算出できない場合は「-」、人件費のみの事業の場合は「0円」とする。		◆ 活動指標(目標) ・男女共同参画推進に関する啓発作品応募数 300点以上を維持する。		◆ 推進委員会の点検項目		◆ 推進委員会から点検コメント		
事業の活動指標(目標)。 年度当初に設定したもの。		◆ 活動指標(目標) ・男女共同参画推進に関する啓発作品応募数 300点以上を維持する。		◆ 活動指標(目標) ・男女共同参画推進に関する啓発作品応募数 300点以上を維持する。		【特に良かった点等】		
事業内容の写真やチラシ等		◆ 活動指標(目標) ・男女共同参画推進に関する啓発作品応募数 300点以上を維持する。		◆ 活動指標(目標) ・男女共同参画推進に関する啓発作品応募数 300点以上を維持する。		【課題等】 ・今後、年代に応じた情報発信を行っていくことは良いことと思う。 ・パネル展等の来場者数や内容に対する意見、感想等が分からない。 ・その時に市役所や図書館に行かなければ展示をみることはない。SNSを活用すべき。写真や動画にして、インスタやYouTubeで公開し、フォローも増やせるよう宣伝すべき。市民の関心を集めるきっかけに。		
当該事業に関連するプラン2021の指標		◆ 活動指標(目標) ・男女共同参画推進に関する啓発作品応募数 300点以上を維持する。		◆ 活動指標(目標) ・男女共同参画推進に関する啓発作品応募数 300点以上を維持する。		推進委員会において個別事業の取組状況を項目ごとに点検し、特に良かった点や課題等について、コメントをする。		

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	取組の方向性	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消					
	1	事業名		◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》		◆ 対応《改善, 今後どのようにするか》	
		No.	・8月1日「高知市男女共同参画の日」に関連した事業を実施した。 ①啓発作品応募数 480点 (川柳:470点, 写真:10点) ②男女共同参画推進表彰企業 6社 ③パネル展開催(7月27日～8月12日, 会場:市役所本庁舎) ④図書企画展開催(8月2日～8月31日, 会場:オーテピア高知図書館)		◆ 検証《達成状況, その要因》		
		1 男女共同参画の日「8月1日」事業	・啓発作品募集 ・パネル展示及び図書企画展 ・横断幕設置 ※ 8月1日は昭和58年に本市に初めて婦人(女性)担当を配置した日。		・啓発作品応募数は480点で, 前年度比22点増となり, 目標点数を超えており, 啓発の機会を確保できている。 ・図書企画展では135冊の図書を展示し, 累計貸出冊数は165冊であった。		
		◆ 事業(概要)		◆ 推進委員会の点検項目		◆ 推進委員会から点検コメント	
		8月1日の「高知市男女共同参画の日」に関連した啓発事業を実施する。 ・啓発作品募集 ・パネル展示及び図書企画展 ・横断幕設置 ※ 8月1日は昭和58年に本市に初めて婦人(女性)担当を配置した日。		決算額 (千円)		【特に良かった点等】	
		◆ 男女共同参画の視点からの目的		R3 R4 R5 R6 R7		◆ 課題等	
		広報・啓発を通じて, 条例の理念及び「高知市男女共同参画の日」の周知を図るとともに, 固定的な役割分担意識の解消を図り, 男女共同参画に関する意識調査で「平等」と回答する市民の割合を増やすため男女共同参画推進について広報・啓発を行う。		45 48		・今後, 年代に応じた情報発信を行っていくことは良いことと思う。 ・パネル展等の来場者数や内容に対する意見, 感想等が分からない。 ・その時に市役所や図書館に行かなければ展示をみることはない。SNSを活用すべき。写真や動画にして, インスタやYouTubeで公開し, フォロワーも増やせるよう宣伝すべき。市民の関心を集めるきっかけに。	
		◆ 活動指標(目標)		人権同和・男女共同参画課			
		・男女共同参画推進に関する啓発作品応募数 300点以上を維持する。		写真等			
		(参考)関連する数値目標		2F展示の本棚			
		男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 (ほか全8項目増加		オーテピア高知図書館での図書企画展			

基本目標	1	取組の方向性	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう
Plan(計画)		No.	事業名
		2	広報・啓発と情報発信 (市民等向け)
		◆事業(概要)	
		市民や企業に向けて男女共同参画やジェンダー平等、多様な性に関する啓発、情報発信や学習機会の提供を行う。 〈市民向け啓発〉パネル展、出前講座等 〈企業向け啓発〉啓発紙の作成・配布、にじいろのまち宣言賛同企業の募集等 〈情報発信〉市広報紙、SNS等による広報、啓発動画の作成	
		◆男女共同参画の視点からの目的	
		様々なツールを用いて男女共同参画やジェンダー平等、多様な性に関する視点を社会に広げる。	
		◆活動指標(目標)	
		・ジェンダー平等、多様な性に関するパネル展を年1回以上開催する。 ・要請に応じて出前講座講師を派遣する。	
		(参考)関連する数値目標	
		男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加	
Do(実施)		◆具体的取組《工夫や配慮した点等》	
		・パネル展6回(男女共同参画, LGBT, 国際女性デーなど) ・高知市総合防災訓練でのブース出展 ・出前講座等18回(地域, 学校, 市職員, 企業など 延べ1,116名参加)	
Action(見直し)		◆対応《改善, 今後どのようにするか》	
		・令和4年度に開始した課公式インスタグラムを中心にSNSやパネル展示等, 引き続き様々な手段による啓発を行い, ターゲットを意識したに効果的な啓発が行えるよう努める。	
Check(点検)		◆検証《達成状況, その要因》	
		・コロナ禍が少し落ち着いてきたため, 出前講座の依頼が増加した。 ・パネル展を行う際には, 市広報紙や課Instagram, 市内デジタルサイネージ等で情報発信を行い, 広い広報に努めた。 ・イオンモール高知でのパネル展, 高知市総合防災訓練でのブース出展など庁外での啓発を強化することができた。	
		◆推進委員会の点検項目	
		必要 性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。
		効 率 性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。
		有 効 性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。
		工 夫 配 慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。
		◆推進委員会から点検コメント	
		【特に良かった点等】	
		【課題等】	
		・事業費が市民向けが少なく, 庁内向けが多いのは腑に落ちない点がある。	

Plan(計画)		Do(実施)							Check(点検)			Action(見直し)	
基本目標	取組の方向性	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消											
	1	一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう											
	ア	No.	事業名									◆対応《改善, 今後どのようにするか》 ・引き続き, 庁内向け掲示板での情報発信と, 男女共同参画推進本部部局推進委員会の活動(テーマ: 防災分野におけるジェンダー平等)を行う。 ・ALLYの見える化推進について, ピンバッジ, ミニフラッグ以外の方法も検討する。	
		3	広報・啓発と情報発信(庁内向け)		R3					R4			
◆事業(概要)		◆検証《達成状況, その要因》 ・男女共同参画推進本部部局推進委員会の活動報告を男女共同参画推進本部本部会, 幹事会の他に, 掲示板にも掲載することで, 庁内全体に男女共同参画の意識の浸透を図った。 ・活動した部局推進員から, ジェンダーの視点について理解が深まったとの声があり, 庁内におけるジェンダー平等の理解促進に寄与できている。 ・職員がにじいろのまちシンボルマークをモチーフにしたピンバッジを身に付け, ALLYの見える化の取組を継続した。											
◆男女共同参画の視点からの目的		庁内における男女共同参画の意識の浸透, 多様な性のあり方についての理解促進を図ることで, それらに配慮した施策の実施につなげる。											
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標) ・庁内向け掲示板での情報発信 ・男女共同参画推進本部部局推進委員会の活動を行う。 ・ミニフラッグ, ピンバッジ等でALLY(アライ)の見える化を推進させる。											
(参考)関連する数値目標		男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目): 社会全体25%以上 (ほか全8項目増加)											
		小学生向けジェンダー平等											
													
		決算額(千円)											
		R3											
		R4											
		R5											
		R6											
		R7											
		人権同和・男女共同参画課											
		写真等											
		必要性											
		効率性											
		有効性											
		工夫・配慮											
		◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 【課題等】 ・リーフレットは児童のジェンダー平等啓発のための有効な教材になるので, 効果的な活用方法の工夫が必要と思われる。たとえば, 事業No.5のレインボースクール実施の事前または事後指導に活用すると, 児童がジェンダー平等について深く考える機会をつくることができるのではないかと。また, 初任者研修や教職員の研修団体などでリーフレットを活用した指導法を紹介してもらい, 広く教職員に存在を広めることも有効ではないかと思う。 ・事業費が市民向けが少なく, 庁内向けが多いのは腑に落ちない点がある。											

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	1	ア	No.	事業名		◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		◆対応《改善, 今後どのようにするか》	
		4		多様な性のあり方を尊重する取組の推進		・R5.3.31時点登録件数 16件 (うちR4年度件数 5件)		・パートナーシップ登録制度についての周知を図るとともに, 引き続き適切な運用について努める。	
				◆事業(概要)				◆検証《達成状況, その要因》	
				・高知市パートナーシップ登録制度の運用				・パートナーシップ登録制度の活用ができる行政サービス一覧をホームページで公開することで, 登録することのメリットを発信した。 ・申請時のプライバシーへの配慮, 手続きに関する問い合わせへの対応等, 適切に実施できた。 ・県内市町村等のパートナーシップ制度導入検討時の問い合わせや視察に対応した。	
				◆男女共同参画の視点からの目的				◆推進委員会の点検コメント	
				生物学的な性別, 性自認, 性的指向に関わらず, 個人として尊重され, その個性と能力を発揮する機会が確保される社会づくりを目指す。				【特に良かった点等】	
				◆活動指標(目標)					
				高知市パートナーシップ登録制度の適切な運用					
				(参考)関連する数値目標				【課題等】	
				男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上ほか全8項目増加					
				多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消					
				一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう					

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
基本目標	取組の方向性	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消						
	1	一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう						
	No.	事業名		◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		◆対応《改善、今後どのようにするか》		
	6	学校における男女平等教育の推進		例年、年間2回実施する人権教育主任研修会の年度当初の会にて、高知市の13の人権課題について児童生徒の発達段階に合わせた学習計画を立て、年度末には各学校で実施された内容を取りまとめた実践概要報告を作成し交流を行うことを提案している。 令和4年度に実施された、校内研修や年次研修等での研修等において、人権教育は特別なことをするのではなく、すべての教育活動の中で行われるものであることや、家庭科での「家族の役割」などの機会に、男女平等の視点に留意し学習するなど、指導者の少しの配慮により、様々な形で啓発が行われることを積極的に伝えていくようにした。		◆対応《改善、今後どのようにするか》 学校で行われる授業は、文部科学省の定めた学習指導要領を基準として、各学校で編成された教育課程のもと、各教科、道徳、総合的な学習、特別活動など標準授業時数に照らして進められている。 本事業は、日々の授業に対し、人権課題の視点との関連を考慮し、授業を構成し、児童生徒への支援・指導を行うことを目的とするものである。 今後も、年次研や校内研等、様々な教職員研修の場において、高知市の13の人権課題の一つとして「女性」の視点に触れ、教職員への啓発を進めていく。		
	◆事業(概要)		学校における男女平等に関する学習や男女共同参画についての学習を推進するため、人権教育に関する情報提供や各学校への指導・支援を行う。		◆検証《達成状況、その要因》		◆推進委員会から点検コメント	
	◆男女共同参画の視点からの目的		次代を担う子どもたちが、成長していく過程において個性と能力を発揮できるよう、男女共同参画について学び理解する機会を提供するとともに、指導・支援していく。		市立小・中・義務教育学校(59校)において、男女平等や男女平等参画を実現するための人権学習が計画的に実践され、令和4年度末の実践概要報告集において「女性」の人権課題への取組実績として記載される学校の割合が100%であった。		【特に良かった点等】 ・小さい頃からの教育は良いと思う。子どもたちだけでなく保護者も対象とした講演や研修があれば、大人にも勉強になる部分や気づきがあるはず。	
	◆活動指標(目標)		市立小・中・義務教育・特別支援学校(59校)において、男女平等や男女共同参画を実現するための人権学習が計画・実践され、令和4年度末の人権教育実践概要において「女性」の人権課題への取組実績として記載される学校の割合を100%とする。		◆推進委員会の点検項目		【課題等】	
			写真等		決算額(千円)		◆推進委員会から点検コメント	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【特に良かった点等】 ・小さい頃からの教育は良いと思う。子どもたちだけでなく保護者も対象とした講演や研修があれば、大人にも勉強になる部分や気づきがあるはず。	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			写真等		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7		【課題等】	
			人権・こども支援課		R3 R4 R5 R6 R7			

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)
基本目標	取組の方向性					
	1	ア	◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・うち人づくり広域連合実施の研修へ対象となる職員を派遣し、人権に関する啓発及び意識改革を行った。 ・派遣研修については、各部局研修委員会から派遣職員の推薦を受け、選考を行った。			
		多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消				
		一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう				

基本目標	1	一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう																																																																																										
取組の方向性	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消																																																																																											
Plan(計画)	<table><tr><td>No.</td><td>事業名</td></tr><tr><td>9</td><td>ソーレにおける広報・啓発及び情報提供</td></tr><tr><td colspan="2">◆事業(概要)</td></tr><tr><td colspan="2">＜広報・啓発＞ 情報紙「ソーレ・スコープ」発行(年4回)、メールマガジン発行、SNSによる情報発信 ＜情報提供＞ 男女共同参画に関する図書・DVD・情報等を提供する。 図書・DVD購入、図書団体貸出、新聞クリップング</td></tr><tr><td colspan="2">◆男女共同参画の視点からの目的</td></tr><tr><td colspan="2">社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</td></tr><tr><td colspan="2">◆活動指標(目標)</td></tr><tr><td colspan="2">・情報紙 7,000部発行 ・メールマガジン発信件数 延べ4,000件 ・SNSによる情報発信 Facebook リーチ数 10,000 Twitter インプレッション数 200,000 ・図書・DVDを貸し出す。 ・団体貸出先 10件 ・新聞クリップング 月2回更新</td></tr><tr><td colspan="2">(参考)関連する数値目標</td></tr><tr><td colspan="2">男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加</td></tr></table>	No.	事業名	9	ソーレにおける広報・啓発及び情報提供	◆事業(概要)		＜広報・啓発＞ 情報紙「ソーレ・スコープ」発行(年4回)、メールマガジン発行、SNSによる情報発信 ＜情報提供＞ 男女共同参画に関する図書・DVD・情報等を提供する。 図書・DVD購入、図書団体貸出、新聞クリップング		◆男女共同参画の視点からの目的		社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。		◆活動指標(目標)		・情報紙 7,000部発行 ・メールマガジン発信件数 延べ4,000件 ・SNSによる情報発信 Facebook リーチ数 10,000 Twitter インプレッション数 200,000 ・図書・DVDを貸し出す。 ・団体貸出先 10件 ・新聞クリップング 月2回更新		(参考)関連する数値目標		男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加		Do(実施)	<table><tr><td colspan="7">◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</td></tr><tr><td colspan="7">＜広報・啓発＞ ・ソーレスコープ発行(年4回) 各7,000部 ・メールマガジン発信件数 延べ4,865件 ・SNSによる情報発信 Facebook リーチ数 18,706 Twitter インプレッション数 253,947 (新)Instagramインプレッション数 5,776 ・ホームページの全面リニューアルによるわかりやすい情報発信(令和5年2月末) ・人権フェスティバル(高知市)における啓発パネル展示及びミニリーフレット配布 ＜情報提供＞ ・図書・DVD蔵書数 11,152冊・本 ・利用登録者数 8,198人(うち新規105人) ・図書団体貸出 18件(市町村14、大学4) ・新聞クリップング 更新24回</td></tr><tr><td>決算額(千円)</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td></td></tr><tr><td></td><td>5,859</td><td>5,464</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>担当課</td><td colspan="6">ソーレ</td></tr><tr><td>写真等</td><td colspan="6">(人権フェスタ出展の様子をInstagramで紹介)</td></tr><tr><td colspan="7"></td></tr></table>	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》							＜広報・啓発＞ ・ソーレスコープ発行(年4回) 各7,000部 ・メールマガジン発信件数 延べ4,865件 ・SNSによる情報発信 Facebook リーチ数 18,706 Twitter インプレッション数 253,947 (新)Instagramインプレッション数 5,776 ・ホームページの全面リニューアルによるわかりやすい情報発信(令和5年2月末) ・人権フェスティバル(高知市)における啓発パネル展示及びミニリーフレット配布 ＜情報提供＞ ・図書・DVD蔵書数 11,152冊・本 ・利用登録者数 8,198人(うち新規105人) ・図書団体貸出 18件(市町村14、大学4) ・新聞クリップング 更新24回							決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7			5,859	5,464					担当課	ソーレ						写真等	(人権フェスタ出展の様子をInstagramで紹介)													Check(点検)	<table><tr><td rowspan="5">自課評価</td><td>R3</td><td>A</td><td rowspan="5">評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80～100%未満) C: 少し下回った(60～80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)</td></tr><tr><td>R4</td><td>A</td></tr><tr><td>R5</td><td></td></tr><tr><td>R6</td><td></td></tr><tr><td>R7</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">◆検証《達成状況、その要因》 全ての指標において目標を達成し、また大きく超えているものがあった。メールマガジンは徐々にではあるが登録者が増加し、着実に広報につながっている。 SNSでは若い世代に利用が多いとされるInstagramを新たに開始したほか、わかりやすく伝わるよう動画配信を行い、広報を強化した。 図書団体貸出件数も、周知により年々増加している。</td></tr></table>	自課評価	R3	A	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80～100%未満) C: 少し下回った(60～80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5		R6		R7		◆検証《達成状況、その要因》 全ての指標において目標を達成し、また大きく超えているものがあった。メールマガジンは徐々にではあるが登録者が増加し、着実に広報につながっている。 SNSでは若い世代に利用が多いとされるInstagramを新たに開始したほか、わかりやすく伝わるよう動画配信を行い、広報を強化した。 図書団体貸出件数も、周知により年々増加している。				Action(見直し)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 引き続き社会情勢の変化に注視しながら男女共同参画やジェンダーへの理解を深めるため、情報紙、メールマガ、SNS、リニューアルしたホームページなどを通じてわかりやすい情報発信に努める。また、動画配信にも工夫をこらし、さまざまな形で知る機会を提供する。
No.	事業名																																																																																											
9	ソーレにおける広報・啓発及び情報提供																																																																																											
◆事業(概要)																																																																																												
＜広報・啓発＞ 情報紙「ソーレ・スコープ」発行(年4回)、メールマガジン発行、SNSによる情報発信 ＜情報提供＞ 男女共同参画に関する図書・DVD・情報等を提供する。 図書・DVD購入、図書団体貸出、新聞クリップング																																																																																												
◆男女共同参画の視点からの目的																																																																																												
社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。																																																																																												
◆活動指標(目標)																																																																																												
・情報紙 7,000部発行 ・メールマガジン発信件数 延べ4,000件 ・SNSによる情報発信 Facebook リーチ数 10,000 Twitter インプレッション数 200,000 ・図書・DVDを貸し出す。 ・団体貸出先 10件 ・新聞クリップング 月2回更新																																																																																												
(参考)関連する数値目標																																																																																												
男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加																																																																																												
◆具体的取組《工夫や配慮した点等》																																																																																												
＜広報・啓発＞ ・ソーレスコープ発行(年4回) 各7,000部 ・メールマガジン発信件数 延べ4,865件 ・SNSによる情報発信 Facebook リーチ数 18,706 Twitter インプレッション数 253,947 (新)Instagramインプレッション数 5,776 ・ホームページの全面リニューアルによるわかりやすい情報発信(令和5年2月末) ・人権フェスティバル(高知市)における啓発パネル展示及びミニリーフレット配布 ＜情報提供＞ ・図書・DVD蔵書数 11,152冊・本 ・利用登録者数 8,198人(うち新規105人) ・図書団体貸出 18件(市町村14、大学4) ・新聞クリップング 更新24回																																																																																												
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																							
	5,859	5,464																																																																																										
担当課	ソーレ																																																																																											
写真等	(人権フェスタ出展の様子をInstagramで紹介)																																																																																											
																																																																																												
自課評価	R3	A	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80～100%未満) C: 少し下回った(60～80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)																																																																																									
	R4	A																																																																																										
	R5																																																																																											
	R6																																																																																											
	R7																																																																																											
◆検証《達成状況、その要因》 全ての指標において目標を達成し、また大きく超えているものがあった。メールマガジンは徐々にではあるが登録者が増加し、着実に広報につながっている。 SNSでは若い世代に利用が多いとされるInstagramを新たに開始したほか、わかりやすく伝わるよう動画配信を行い、広報を強化した。 図書団体貸出件数も、周知により年々増加している。																																																																																												

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)				
基本目標	1	ア	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		R3	R4	◆対応《改善, 今後どのようにするか》 引き続き、次年度もSOGIIに関する講座を実施し、性の多様性から自分自身のことを考え、多様性を認め合うことの大切さを学んでいただく。 実施時期 9月 定員30名 SOGI講座 「性の多様性からじぶんについて考える」			
		10	SOGIIに関する講座	・SOGIIに関する講座 LGBTsの多様な生き方は社会のチカラ」～子どもから大人まで私たちの気づきと社会の受容～ 参加者数 会場16名、オンライン13名 開催日 9月4日(日) 講師:原 ミナ太さん(NPO法人共生社会をつくるセクシュアル・マイリティ支援全国ネットワーク共同代表理事)「	自課 評価	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)						
		◆事業(概要)		◆検証《達成状況, その要因》		市民に向けたSOGI及びジェンダーへの理解について講座を行い、啓発に努めた。 性的マイノリティの基礎的な知識と対応について学んでいただくことができた。 参加者数は目標30名に対しオンラインを含め29名とわずかに届かなかったが、コロナ感染拡大のピーク時期と重なったことが影響したものと思われる、やむを得ないものと考ええる。(BA.5対策強化期間中)						
		◆男女共同参画の視点からの目的		ジェンダーの多様性への理解を深め、性自認・性的指向の尊重につなげる講座を開催する。								
		◆活動指標(目標)		・SOGIIに関する講座 参加者数 30名		決算額 (千円)		R3		R4	R5	R6
						担当課	ソール					
					写真等							
					(参考)関連する数値目標	男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加						

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
基本目標	取組の方向性							
	1	イ	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・庁内において審議会等への女性委員の登用について理解を求めため、男女共同参画推進本部本部会、幹事会において、女性委員の登用及び取組状況を報告した。 ・改選時期を迎える審議会のある担当課に女性委員の登用を呼びかけた。				◆対応《改善, 今後どのようにするか》 ・引き続き庁内への働きかけを継続するとともに、より効果的な手段を検討していく。	
	事業名		評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)				◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 【課題等】 ・働きかけで改善がないのであれば、具体的に原因を取り除く必要がある。予め構成者が決まっているのであれば、女性を含むように設置規程の見直しも必要と思う。 ・条例第3条(3)では、「男女が…立案及び決定に共同して参画する機会が確保されること」、第13条では「附属機関等の委員の構成は男女のいずれか一方の委員数が総数の40%未満とならないよう努める」とあるが、平成17年に条例制定以来目標を達成できていないのであるが、条例が形骸化しないよう、審議会個々の目的・内容を検証して、目標の設定方法の見直しが必要だと思う。また、女性比率も全体ではなく、審議会毎の比率を見ていく必要があると思う。 ・女性委員を含まない審議会において、女性委員を登用していくための阻害要因はどのようなことか。各審議会等で違うと思うので、担当課へのヒアリングと担当課での分析が必要ではないか。	
	11	審議会等の女性登用の推進	自課評価		R3 R4 R5 R6 R7			
	◆事業(概要)		◆検証《達成状況, その要因》 ・女性委員を含まない審議会 13会(前年度15会) ・女性委員比率 30.7%(前年度31.1%) ・前年度からほぼ横ばいであった。					
◆男女共同参画の視点からの目的 政策・方針決定過程への男女平等の促進により、多様な市民の意見を反映させることができる。		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】				
◆活動指標(目標) 委員の改選時期を迎える審議会等の担当課への働きかけを行う。 庁内掲示板で女性の委員登用について働きかけを行う。		決算額(千円)	R3 0	R4 0	R5 R6 R7	必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。		
		担当課	人権同和・男女共同参画課				効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	
		写真等					有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	
(参考)関連する数値目標 市の審議会等で女性がいない審議会数:0会							工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)					
基本目標	取組の方向性	政策・方針決定過程における男女平等の促進									
	1	イ	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・高知市特定事業主行動計画において、令和7年度時点の数値目標等を設定しており、数値目標を達成するため、特定事業主行動計画に加えて、ワークライフバランスに関する情報等について、庁内掲示を活用して周知を図った。				◆対応《改善、今後どのようにするか》 女性職員の活躍のためには、長時間勤務の是正や男性の家事・育児等への参加、固定的性別役割分担意識の解消等が課題であり、女性職員に限らず広く職員全体への意識付けが必要であると考えている。そのためにも、引き続き庁内掲示を活用し、ワークライフバランスや女性活躍に関する情報提供に努めていきたい。				
			◆事業(概要) 高知市特定事業主行動計画に基づき、事務系の職種について男女の区別なく実績・能力に基づき、管理的地位への登用を行う。								
			◆男女共同参画の視点からの目的 女性が能力を十分に発揮できる職場環境を形成し、多角的な視点で業務を推進することで、住民の多様なニーズに対応できる。								
			◆活動指標(目標) ・女性職員のキャリア形成についてイメージしやすいような情報や、ワークライフバランスに関する情報等を庁内掲示により周知する。								
		(参考)関連する数値目標 市職員の女性管理職(課長補佐以上)の割合: 部長・副部長14%以上 課長22%以上 課長補佐45%以上									
				決算額(千円)	R3 0	R4 0	R5	R6	R7	◆推進委員会の点検項目 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 【課題等】 ・男女で実績・能力に大差はないと思う。管理的地位への登用に支障があるのであれば、解決するために必要な研修や制度の見直し等具体的な取組を行う必要がある。 ・ワークライフバランス等の情報提供など個々の意識に訴えることで役職者が増えるのか疑問。取り組んでいると思うが、例えば課題として挙げている長時間労働の削減のための具体的な目標の設定、女性管理者育成講座、女性の登用基準の明確化など人事面で女性管理職を増やすための具体的な・継続的な取組が必要ではないかと思う。 ・次年度は本気で取り組んでみたかどうか。最も困難で重要な課題。市役所が他の組織や企業の先進事例になると良い。各部署から代表を集めてプロジェクトチームを作り、阻害要因を追及して改善策を考えることにより、ワークライフバランスの観点から、そんな目標にこだわることではないという結論に至っても良いと思う。また、他所(県内外・海外)の先進事例を研究してみてもどうか。 ・審議会や役職への女性登用が増えないのはなぜか。女性リーダーを育成しているも、実際に増えていないので、根本的な原因への対策が必要だと思う。担当課が別々である。自課の指標達成のためになるので、他課とも連携を図っていければよいのでは。

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)																																								
基本目標	1	イ	<table><tr><td>No.</td><td>事業名</td></tr><tr><td>13</td><td>女性リーダーの育成</td></tr></table>	No.	事業名	13	女性リーダーの育成	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 女性リーダー応援塾(連続講座) 10月2日 10月23日 11月20日 ① マインドアアップセミナー「明日の私にご期待ください。」(講演) ②③スキルアップセミナー「女性×はたらく」(講座) ＜講師＞ ① 堀井利江(オフィスホリイ代表) ②③小安美和(株式会社Will Lab 代表取締役) 参加者 ① 52名(うちオンライン34名) ②③ 30名		<table><tr><td rowspan="2">自課 評価</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td colspan="5">B A</td></tr><tr><td></td><td>R4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>R5</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>R6</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>R7</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		自課 評価	R3	R4	R5	R6	R7	B A						R4						R5						R6						R7					◆対応《改善、今後どのようにするか》 次年度は、職場や地域で活動する女性が、より多く受講できるよう、オンデマンド配信による講座とし、企業等へ紹介し受講を呼びかける。 ＜内容＞ 職場等で中核的な人材として活躍している方が活用できるスキルを身に付けられるものとし、併せて、男女共同参画推進事業やエンパワメント講座等の受講もよびかけ、男女共同参画の総合的な視点を養っていただく。 実施時期 未定 内 容 タイムマネジメント	
	No.	事業名																																														
	13	女性リーダーの育成																																														
自課 評価	R3	R4	R5	R6	R7																																											
	B A																																															
	R4																																															
	R5																																															
	R6																																															
	R7																																															
		◆事業(概要) ・女性の活躍応援(連続講座) ファシリテーションやコミュニケーションのスキルを学び、必要に応じて自分のスキルを活用し、その場の運営にあたる力を養う。		◆検証《達成状況、その要因》 女性が働くなかで抱えるジレンマや働き続けることへの不安を払拭し、前向きにキャリアを考える思考へ受講者を導くことが出来た。また、ロジカルシンキング&プレゼンスキルをグループワークを交えて学び、意見の取りまとめや発表などから個々のリーダーシップの発揮ができた。連続した講座を通して女性活躍に必要なマインド&スキルアップにつながった。 第1回をオンライン視聴可としたことで前年を超える参加があった。																																												
		◆男女共同参画の視点からの目的 職場等で活用できるスキルやリーダーシップを発揮するために必要なことを学び、リーダーとしての資質を養うことで、男女共同参画に寄与する。		<table><tr><td>決算額 (千円)</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td></td><td>91</td><td>424</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		決算額 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7		91	424																																		
決算額 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7																																											
	91	424																																														
		◆活動指標(目標) ・女性の活躍応援(連続講座) 参加者数 30名		担当課 ソール																																												
				写真等																																												
		(参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 (ほか全8項目増加)																																														
		政策、方針決定過程における男女平等の促進																																														
		一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう																																														

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
基本目標	取組の方向性	政策・方針決定過程における男女平等の促進						
	1	イ	一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう					
		事業名 14 政治分野への女性の参画に関する情報の提供・啓発	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		◆検証《達成状況、その要因》		◆対応《改善、今後どのようにするか》 今後も情報紙やSNS等を効果的に活用し、政治分野への女性の参画の必要性やその課題についてわかりやすく情報提供・啓発を行う。 情報紙 ソーレスコープ 25周年企画に掲載予定 その他 SNS等で随時発信	
			＜情報提供＞ 女性を取り巻く課題に関する実態調査(ウェブ調査年4回実施)において、テーマの一つに女性の政治参画をとりあげ、7月の参議院議員選挙前に開始した。結果を情報紙やホームページで周知した。情報紙には県内有識者の寄稿も掲載し、市民の皆様が課題に対する理解を深めていただくよう工夫した。 [実施時期] 6月15日～7月15日 [回答者数] 273名(うち県内264名) 女性166名 男性98名 その他回答なし等9名 ＜啓発＞ 男女共同参画講座(ジェンダーカフェ)のテーマの一つに「女性と政治参画」を取上げた。テーマ「女性議員はなぜ増えないのか」11月5日(土)講師 濱田真理(一般社団法人ジェンダー総合研究所共同代表)参加者20名(うち男性2名)		ソーレスコープ2022年10月号に掲載し、7000部を発行、関係機関や町内会等に配付し、周知した。 ホームページのホームページに集計結果とともに分析を加え、女性の政治参画に関する意識について、よりわかりやすく伝えることができた。 ジェンダーカフェは、定員を超える申込があり、満席となった。10代～80代まで幅広い年代が参加した、女性議員が少ない理由やなぜ増やす筆王があるのかといったことをワークを通じて学ぶ有意義な機会となった。			
			決算額(千円)		R3	R4		R5
担当課			ソーレ					
写真等web調査の情報提供								
◆活動指標(目標)		情報紙等へ政治分野への女性の参画に関する情報を掲載し、啓発する。						
(参考)関連する数値目標		男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上(ほか全8項目増加)						

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	2	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
		15	人権啓発の推進	●啓発活動 計32回 ・部落差別をなくする強調旬間記念講演会 演題:「人の世に熱と光を一水平社創立の思想に学ぶ」 講師:駒井 忠之さん 参加者 204名 ・部落差別をなくする強調旬間地域講演会 演題:『熱と光をたぐり寄せる〜「私たち」の社会をつくるために』 講師:三木 幸美さん 参加者 40名 ・企業向け講演会 演題:『サステナビリティの本質と「ビジネスと人権」』 講師:田瀬 和夫さん 視聴回数 700回 ・人権の花運動(人権擁護委員との連携)実施 小学校等10か所 ・野球冠協賛試合(高知県人権啓発センター主催)での啓発 計1回 ・出前講座 18回 計1,116名		◆検証《達成状況, その要因》 ・コロナ禍が落ちてきたため出前講座が増えている。依頼テーマは「にじいろのまちをめざして」「災害と人権」「ジェンダーってなんだろう」「ジェンダー平等をめざして」など性の多様性やジェンダー平等の視点に関するものが多くあった。 ・企業向け講演会はオンラインで開催した。		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 ・引き続き出前講座等の啓発活動を行っている。その中でオンライン開催等, 状況に応じた手法を検討する。	
			◆事業(概要)	人権尊重の意識を高める啓発活動を実施する。(講演会, 関係機関と連携した人権啓発, 出前講座など)		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
			◆男女共同参画の視点からの目的	市民一人ひとりが人権尊重の理念に対する理解を深め, 社会全体の人権意識の高揚をはかる。		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				◆活動指標(目標)		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				講演会等の啓発活動を年5回以上とする。		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				(参考)関連する数値目標		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				DVを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	
				写真等		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント	

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	2	取組の方向性	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・パネル展開催(11月14日～11月25日, 会場:市役所本庁舎) ・パンフレット32枚, ティッシュ547個の配布 ・庁内デジタルサイネージでの放送(11月14日～11月25日) ・課Instagramでの記事掲載 ・庁内トイレへのDVカードの設置(39箇所)		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 ・DVで悩んでいる方に必要な情報が届くように広報手段や啓発方法を検討することが必要と考える。また, 若年層への広報としてSNSを積極的に活用していく。		◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】
		事業名	◆事業(概要) ・DVに関する相談先の周知に努める。 ・DVについて正しい知識を持てるよう, 若年層への啓発に努める。		評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)		
		No.	◆活動指標(目標) DV等の防止啓発のために, パネル展開催(年1回以上), パンフレット・ティッシュの配布(2,800枚(個)), 庁内トイレへのDVカードの設置(37箇所)を継続する。		R3 R4 R5 R6 R7		
			(参考)関連する数値目標 DVを内容まで知っている人と答えた人の割合:70%以上		◆検証《達成状況, その要因》 ・ティッシュ等配布数は目標数に届かなかった。 ・昨年度作成した啓発動画による広報を庁内のデジタルサイネージや課インスタグラムで行った。		
			◆男女共同参画の視点からの目的 DV等について正しい認識が持てるよう, 若年層からの啓発に努める。		◆推進委員会の点検項目		
			決算額 (千円)		R3 560	R4 0	R5 R6 R7
			担当課		人権同和・男女共同参画課		
			写真等		写真等		
			◆活動指標(目標) DV等の防止啓発のために, パネル展開催(年1回以上), パンフレット・ティッシュの配布(2,800枚(個)), 庁内トイレへのDVカードの設置(37箇所)を継続する。		必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。		
					効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。		
					有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。		
					工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		
					【課題等】 ・事業No.1と同様。SNSに広告をだして宣伝啓発してほしい。対象者の多くはSNS利用者。インスタやYouTubeに地域限定で広告を出すのは安価。		

[illegible]

基本目標		取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
2	児童虐待予防推進事業	ア	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		◆検証《達成状況, その要因》		◆対応《改善, 今後どのようにするか》		
			18	児童虐待予防推進事業	要保護児童対策地域協議会の実施(実務者会議年24回・新規ケース連絡会年12回・代表者会議年1回・個別ケース会議年229回)を開催し, 児童虐待予防をメインとして男女の人権尊重にも触れた。		講演会のテーマ「沈黙のヤングケアラー〜その笑顔の内側に〜」は, 参加者が偏ることが予想されたが, 男性も一定数参加があり, 男女共同参画の視点からも一定の理解を得ている。		令和5年度も引き続き講演会を通しての一般市民向けへの児童虐待予防の啓発と関係機関への児童虐待対応研修を行い, また, 必要に応じて子ども家庭支援センター職員が関係機関へ出向いて, 研修を行っている出前講座の対応も行うこととしており, 児童虐待予防を積極的に推進していく。		
			◆事業(概要)		・要保護児童の早期発見や適切な対応を図るために, 関係機関, 関係団体及び児童の福祉に関連する職務に従事する者等により構成される「要保護児童対策地域協議会」において, 当該児童に関する情報や支援についての考え方を共有し, 適切な連携のもとで対応する。 ・児童虐待問題に対する深い関心と理解促進, また, 虐待の発生予防, 早期発見・早期対応推進のため, 児童虐待対応研修の実施や, 広報紙, 講演等を通じて, 継続的な広報・啓発活動を行う。		児童虐待対応研修においては, 児童虐待対応にかかる発生予防, 早期発見・早期対応推進がメインとなっている。子育ての部分では, 日頃から母だけではなく父についても積極的な子育てへ関わりを持つことも現場では, 伝えており男女共同参画の視点についても触れる等して意識啓発している。		昨年度は尼崎市教育委員会スクールソーシャルワーカーの黒光さおり氏を招き, ヤングケアラーがどのような日常を経験しているのかから始まり, 周囲はどのように意識して, 関われば良いのか, 現場や当事者の思いに耳を傾けることに繋がる講演をしていただいた。毎年市民向けの講演会テーマは変更しており, 今年度はステップファミリーをテーマとし, 子どもの気持ちを第一に考える中で, 家族の多様化にどのように向きあっているか良いのか講演していただく予定である。		
			◆男女共同参画の視点からの目的		子どもがいる家庭におけるDVIは, 児童の人権を著しく侵害し, その心身の成長や人格の形成に重大な影響を与えとともに, 将来の世代の育成にも懸念的な対応に努める必要がある。また母親が被害者である場合, 長期の支配下で依存傾向が強く, 判断能力の低下や, 経済的自立に段階的な対応が必要な場合があり, 特に女性相談支援センターや母子生活支援施設との連携が重要となる。		決算額(千円)		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント
				担当課		子ども家庭支援センター		必要性		【特に良かった点等】	
				写真等				効率性		【課題等】	
								事業がプランの数値目標に結びつくか。			
								事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。			
								有効性			
								有効性			
								工夫・配慮			
								・男女共同参画の視点からの配慮があるか。			
						</					



基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)		Action(見直し)
2	DVやハラスメントのない社会をつくりましょう		DV・性犯罪等々暴力を根絶するための啓発の充実			◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・学校等からの出前授業の依頼には100%対応した。 ・基本的な情報モラル授業だけではなく、依頼してきた学校の実態や発達段階に応じて、当該教員と教材や課題内容の確認等を行い、常に授業内容を変化させながら授業実践した。 ・少年補導センターの職員を派遣する際も、小学校・中学校の補導教員が行く場合や、教員と警察籍の職員がペアになって行く場合等、依頼内容に応じて変えていく工夫をした。 ・小・中・義それぞれの新入生の全保護者向けに「正しく使おうインターネット」というリーフレットを入学時に配付し、啓発を行った。		◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・令和5年度より児童生徒の家庭学習にGIGAタブレットを活用することが推進されることになり、ネットラブルの増加や低年齢化が予想される。今まで以上に学校と連携して情報モラル教育の推進や啓発が必要になると考える。また、年々新しいソフトや機能が開発されているので、新しい技術に対応できる知識や授業内容・課題の習得、研究をしていくようにする。
			◆男女共同参画の視点からの目的 未成年の健全育成という観点から加害者にも被害者にもさせないという意識で啓発・指導に取り組む。			◆検証《達成状況、その要因》 ・学校からの依頼には100%対応できた。(98団体・207回) ・学校からは、実際にあったトラブルや事案をもとに授業を実施してくれたことで児童生徒にはストーリーに指導が入り、助かったという声や、色々な職種や職種の方が来ていただいたことで、より専門的な観点で授業を展開してくれて効果的だったという声をいただいた。 ・全市立小中学校の児童生徒を対象に行った「インターネット利用にかかわる実態調査アンケート」の結果を授業内容に取り入れることで、児童生徒たちが自分のこととして考えることができていたとの声もいただいた。		◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・令和5年度より児童生徒の家庭学習にGIGAタブレットを活用することが推進されることになり、ネットラブルの増加や低年齢化が予想される。今まで以上に学校と連携して情報モラル教育の推進や啓発が必要になると考える。また、年々新しいソフトや機能が開発されているので、新しい技術に対応できる知識や授業内容・課題の習得、研究をしていくようにする。
			◆活動指標(目標) ・依頼のあった学校等で情報モラルの講演や出前授業を実施する。依頼への対応 100% ・インターネットの危険性を伝えるとともにフィードバックの必要性や正しいネットとの付き合い方等を指導、広報していくよう啓発を行う。			◆推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・小中学生の段階でこのような知識を身につけることは重要で、良い取組と思う。実態調査アンケートを行っていることも評価したい。アンケートは実態を調査できる他、アンケートに回答した側への意識づけもなる。男女共同参画推進は意識づけが重要なもので、他の取組にもアンケートを活用してはどうか。 ・小さい頃からの教育は良いことと思う。子どもたちだけでなく保護者も対象とした講演や研修があれば、大人にも勉強になる部分や気づきがあるはず。
			(参考)関連する数値目標 DVの内容まで知っている人と答えた人の割合:70%以上			◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・学校等からの出前授業の依頼には100%対応した。 ・基本的な情報モラル授業だけではなく、依頼してきた学校の実態や発達段階に応じて、当該教員と教材や課題内容の確認等を行い、常に授業内容を変化させながら授業実践した。 ・少年補導センターの職員を派遣する際も、小学校・中学校の補導教員が行く場合や、教員と警察籍の職員がペアになって行く場合等、依頼内容に応じて変えていく工夫をした。 ・小・中・義それぞれの新入生の全保護者向けに「正しく使おうインターネット」というリーフレットを入学時に配付し、啓発を行った。		◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・令和5年度より児童生徒の家庭学習にGIGAタブレットを活用することが推進されることになり、ネットラブルの増加や低年齢化が予想される。今まで以上に学校と連携して情報モラル教育の推進や啓発が必要になると考える。また、年々新しいソフトや機能が開発されているので、新しい技術に対応できる知識や授業内容・課題の習得、研究をしていくようにする。



Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
取組の方向性	2	1	事業名	◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》		A	◆ 対応《改善, 今後どのようにするか》
				・人権相談 29件(うち, DVIに関するもの10件) 必要に応じ, 専門の窓口を案内した。 ・職員が各種研修へ参加(人権啓発指導者養成研修会, 県主催犯罪被害者等支援研修会他)し, 資質向上を図った。 ・特設人権相談(人権擁護委員による相談)について市ホームページでの案内した。 ・人権擁護委員の周知を目的に, 6月1日「人権擁護委員の日」に合わせ, 市本庁舎1階で啓発活動を行った。			
基本目標	2	1	20	人権全般における相談体制の充実	◆ 事業(概要)	R3 R4 R5 R6 R7	◆ 検証《達成状況, その要因》
DV・性犯罪等暴力の被害者への支援	2	1	2	男女共同参画の視点からの目的	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標	◆ 活動指標(目標)	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 推進委員会から点検コメント
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2	1	2	(参考)関連する数値目標			

Plan(計画)		Do(実施)							Check(点検)			Action(見直し)	
取組の方向性	2	1	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》							◆対応《改善, 今後どのようにするか》	◆推進委員会から点検コメント
					・庁内ネットワーク会議を4月26日に開催。 ・県主催の会議へ出席(2回)。								
基本目標	2	1	21	DV等被害者支援ネットワーク会議の連携強化	◆男女共同参画の視点からの目的							◆検証《達成状況, その要因》	◆推進委員会からの点検コメント
					・緊急かつ重大な被害を未然に防止するため,スムーズな庁内・庁外の連携を図る。 ・相談者の安全に配慮し, DV等被害者支援の知識や能力を持つ職員の育成に務める。								
基本目標	2	1	21	DV等被害者支援ネットワーク会議の連携強化	◆男女共同参画の視点からの目的							◆検証《達成状況, その要因》	◆推進委員会からの点検コメント
					・被害者が配偶者等からの暴力で心身ともに傷ついていること, 個別の状況があることに留意し, その人の立場に配慮した対応を徹底する。不適切な対応により被害者に更なる被害(二次的被害)が生じることのないよう配慮する。								
基本目標	2	1	21	DV等被害者支援ネットワーク会議の連携強化	◆活動指標(目標)							◆検証《達成状況, その要因》	◆推進委員会からの点検コメント
					・令和2年3月に発生したDV被害者情報の漏えいについて, 原因等を検証し, 庁内会議の場で共有し, 再発防止に努める。 ・DV被害者を支援する関係各課との連携, 情報共有を図る。								
基本目標	2	1	21	DV等被害者支援ネットワーク会議の連携強化	(参考)関連する数値目標							◆検証《達成状況, その要因》	◆推進委員会からの点検コメント
					DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下								

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	2	1	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 女性対象相談2,083件のうち、暴力に関する相談110件。必要に応じて関係機関と連携した。		R3 R4 R5 R6 R7		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 総合的な相談窓口として、情報紙、ホームページ、SNS等で広報し、相談につながるよう、引き続き取り組み。
			22	相談事業(DVに関するもの)	動画作成により、相談をSNS等で広報した。		A A 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)		
			◆事業(概要)		◆検証《達成状況, その要因》 感染症拡大を受け、8/17～9/16の一般相談のうち面談を中止し、電話相談のみとした。		◆検証《達成状況, その要因》		
			◆男女共同参画の視点からの目的 DVに関する相談を通じ、DV被害を早期に発見し、支援につなげる。						
			◆活動指標(目標) 総合的な窓口として、相談に応じるとともに、DV支援関係機関と適切に連携する。						
			(参考)関連する数値目標 DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下						
					写真等 (動画の一部)				
					決算額 (千円)		R3 0	R4 0	R5 R6 R7
					担当課		ソーレ		

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)					
基本目標	2	1	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		R3	R4	R5	R6	R7	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善, 今後どのようにするか》 ・相談員スキルアップ研修 開催日①5/27 ②7/2 ③7/23 研修テーマ「震災に備える」とし, ジェンダーの視点からの相談業務のスキルアップを目的に全3回実施。 ・相談関連講座 家族のコミュニケーションや生きづらさ・働きづらさを感じている女性のための講座など3講座を実施。
			23	相談体制の充実	・相談員スキルアップ研修 実施回数 3回 参加者数 54名(うち男性19名) テーマ ①性的マイノリティ相談の基礎知識 ②相談員が知っておきたいLGBTs支援のための法知識 ③思春期・青年期のトランスジェンダーの方への対応と多職種連携 ・相談関連講座 実施回数 計9回 参加者数 137名 (うち男性7名, オンライン21名) ①よりよい関係を築くコミュニケーション講座 1回 23名 ②アンガーマネジメント講座 2回 41名(男性7名※オンライン21名) ③女性の居場所づくり「ゆるりのしっぽ」 6回 73回(「コスメバングプロジェクト」 (拠点:東京)と連携し, 無償で化粧品セットの提供を受け, 参加者に配付した(初参加の方。))								
			◆事業(概要)	相談関係者に対する研修・啓発 ・相談員スキルアップ研修 ・相談関連講座									
			◆男女共同参画の視点からの目的	社会の中で女性が行われている立場を理解し, ジェンダーに敏感な視点からの相談業務ができるようにする。									

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	2	DVやハラスメントのない社会をつくりましょう					
	ウ	あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実					
	取組の方向性						
	No.	事業名					
	24	ハラスメント防止研修					
◆事業(概要)		市職員等を対象としたハラスメント研修を実施し、職場におけるハラスメントの防止と、ハラスメントの事態が生じた際の迅速・適切な対応について、理解を深めてもらう。					
◆男女共同参画の視点からの目的		職員一人ひとりが、お互いの価値観等の違いを認め、尊重し、協力し合うことで、ハラスメントのない職場づくりを目指す。					
◆活動指標(目標)		・管理監督職員を対象とした研修を実施する。 ・ハラスメント苦情相談窓口の周知を図る。					
(参考)関連する数値目標		セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると言えた人の割合:70%以上					
◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		・管理職を対象としたハラスメント防止研修については、対象者ができるだけ受講できるよう8コース設定した。また、令和2年度から実施しているため、ハラスメントに関する基礎知識はすでに理解しているという前提で講義内容を組み立て、アサーティブな伝え方を考えるなど、主に育成視点のマネジメントを採り入れた講義内容とした。 ・ハラスメント苦情相談員を対象としたハラスメント防止研修を1日、また情報交換会を2回実施し、ハラスメント防止対策強化の動きやハラスメントの定義の学習に加え、ケーススタディを考えながら、ハラスメント苦情相談員に求められるものについて、目的や役割を共有するとともに、相談員同士の意見交換の場とした。					
決算額(千円)		R3	R4	R5	R6	R7	
担当課		0	0				
写真等		人事課					
◆推進委員会の点検項目		・事業がプランの数値目標に結びつくか。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。					
◆推進委員会から点検コメント		【特に良かった点等】					
		【課題等】					

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	2	ウ		◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 講師派遣の要望があった所属における人権研修及び新採研修で、性的指向・性自認に関する研修を実施した。わかりやすい研修となるよう動画も用いた。 福祉3課人権研修 154名参加 新採研修 5名参加		◆検証《達成状況、その要因》 福祉課の職場研修では研修が有意義だった(5段階中5・4の回答者)が約91％であった。「身近な問題として再認識した。知ろうとする姿勢が大切だと感じた。」「市民対応の参考になった」などの感想が寄せられた。		◆対応《改善、今後どのようにするか》 引き続き、職員が正しい理解と適切な対応ができるよう研修や情報提供を行っていく。	

取組の方向性		あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実									
基本目標	2	DVやハラスメントのない社会をつくりましょう									
Plan(計画)											
		No.	事業名								
		26	出前講座								
		◆事業(概要)		サポーター講師によるハラスメント防止に関する出前講座の実施。							
		◆男女共同参画の視点からの目的		ハラスメントを正しく理解することで、一人ひとりの人権を尊重する社会づくりを目指す。							
		◆活動指標(目標)		要請に応じて出前講座講師を派遣する。							
											
		(参考)関連する数値目標		セクシャル・ハラスメントを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上							
Do(実施)		◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・サポーター講師 3件5回 参加者数 258名(うち男性123名) 決算額 (千円) R3 29 R4 58 R5 R6 R7 担当課 ソーレ 写真等									
Check(点検)		R3 R4 R5 R6 R7 自課 評価 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満) ◆検証《達成状況, その要因》 サポーター講師によるハラスメント防止講座はほぼ前年並みの実績となり, 目標を達成した。 出前講座全体として, 感染症拡大の影響は残っているが, 年度後半は回復基調にある。									
Action(見直し)		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 引き続き職場, 企業, 団体等にハラスメント防止への理解が広がるよう, 広く周知する。コロナ5類移行により, 利用が増加することを見込み, 広報を強化し, 重要性を伝えていく。									

基本目標	2	D V やハラスメントのない社会をつくりましょう																																																		
取組の方向性	ウ	あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実																																																		
Plan(計画)	<table><tr><td>No.</td><td>事業名</td></tr><tr><td>27</td><td>性的少数者に関する電話相談</td></tr><tr><td colspan="2">◆事業(概要)</td></tr><tr><td colspan="2">にじいろコール(LGBTsに関する相談) 毎月第4土曜日 13:30～16:30 専用電話番号で専門の相談員がLGBTなどの相談を受ける。</td></tr><tr><td colspan="2">◆男女共同参画の視点からの目的</td></tr><tr><td colspan="2">性的少数者を対象にしたLGBTsに関する相談を実施し、多様な性への理解を深める。</td></tr><tr><td colspan="2">◆活動指標(目標)</td></tr><tr><td colspan="2">LGBTsに関する相談を受ける。</td></tr><tr><td colspan="2">(参考)関連する数値目標</td></tr><tr><td colspan="2">—</td></tr></table>			No.	事業名	27	性的少数者に関する電話相談	◆事業(概要)		にじいろコール(LGBTsに関する相談) 毎月第4土曜日 13:30～16:30 専用電話番号で専門の相談員がLGBTなどの相談を受ける。		◆男女共同参画の視点からの目的		性的少数者を対象にしたLGBTsに関する相談を実施し、多様な性への理解を深める。		◆活動指標(目標)		LGBTsに関する相談を受ける。		(参考)関連する数値目標		—																														
No.	事業名																																																			
27	性的少数者に関する電話相談																																																			
◆事業(概要)																																																				
にじいろコール(LGBTsに関する相談) 毎月第4土曜日 13:30～16:30 専用電話番号で専門の相談員がLGBTなどの相談を受ける。																																																				
◆男女共同参画の視点からの目的																																																				
性的少数者を対象にしたLGBTsに関する相談を実施し、多様な性への理解を深める。																																																				
◆活動指標(目標)																																																				
LGBTsに関する相談を受ける。																																																				
(参考)関連する数値目標																																																				
—																																																				
Do(実施)	<table><tr><td colspan="7">◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</td></tr><tr><td colspan="7">令和3年度の試行を経て、新たに専門相談として令和4年度から開始した。 月1回 相談件数計 21件 実施時期 毎月第4土曜 13:30～16:30 実施方法 電話相談</td></tr><tr><td>決算額 (千円)</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td></td></tr><tr><td></td><td>218</td><td>156</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>担当課</td><td colspan="6">ソーレ</td></tr><tr><td colspan="7">写真等(SNSによる紹介)</td></tr><tr><td colspan="7"> 毎月第4土曜日は にじいろコール  LGBTsに関する相談 13:30～16:30 専用電話 088-854-8542 </td></tr></table>			◆具体的取組《工夫や配慮した点等》							令和3年度の試行を経て、新たに専門相談として令和4年度から開始した。 月1回 相談件数計 21件 実施時期 毎月第4土曜 13:30～16:30 実施方法 電話相談							決算額 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7			218	156					担当課	ソーレ						写真等(SNSによる紹介)							毎月第4土曜日は にじいろコール  LGBTsに関する相談 13:30～16:30 専用電話 088-854-8542						
◆具体的取組《工夫や配慮した点等》																																																				
令和3年度の試行を経て、新たに専門相談として令和4年度から開始した。 月1回 相談件数計 21件 実施時期 毎月第4土曜 13:30～16:30 実施方法 電話相談																																																				
決算額 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7																																															
	218	156																																																		
担当課	ソーレ																																																			
写真等(SNSによる紹介)																																																				
毎月第4土曜日は にじいろコール  LGBTsに関する相談 13:30～16:30 専用電話 088-854-8542																																																				
Check(点検)	<table><tr><td rowspan="5">自課 評価</td><td>R3</td><td>D</td><td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80～100%未満) C:少し下回った (60～80%未満) D:大きく下回った (60%未満)</td></tr><tr><td>R4</td><td>B</td></tr><tr><td>R5</td><td></td></tr><tr><td>R6</td><td></td></tr><tr><td>R7</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">◆検証《達成状況、その要因》</td></tr><tr><td colspan="4">情報紙、SNS等により広報し、また他機関からの紹介もあり前年より相談件数は増加した。 10代からの相談が1件と少なく、スマホアプリ等とは異なり、電話料金が発生することが要因となっている可能性が考えられる。</td></tr></table>			自課 評価	R3	D	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80～100%未満) C:少し下回った (60～80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	R4	B	R5		R6		R7		◆検証《達成状況、その要因》				情報紙、SNS等により広報し、また他機関からの紹介もあり前年より相談件数は増加した。 10代からの相談が1件と少なく、スマホアプリ等とは異なり、電話料金が発生することが要因となっている可能性が考えられる。																																
自課 評価	R3	D	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80～100%未満) C:少し下回った (60～80%未満) D:大きく下回った (60%未満)																																																	
	R4	B																																																		
	R5																																																			
	R6																																																			
	R7																																																			
◆検証《達成状況、その要因》																																																				
情報紙、SNS等により広報し、また他機関からの紹介もあり前年より相談件数は増加した。 10代からの相談が1件と少なく、スマホアプリ等とは異なり、電話料金が発生することが要因となっている可能性が考えられる。																																																				
Action(見直し)	◆対応(改善、今後どのようにするか) 次年度からにじいろコールをフリーダイヤルに変更し、若い世代を含め、より相談しやすい環境を整える。 番号 0120－56－2416 (コールにじいろ)																																																			

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																								
3	家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	ア 事業名 28 男女共同参画推進企業表彰	◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・表彰企業数 6社(応募6社)。 荒川電工(株), 紀和工業(株), 四国水道工業(株), 土佐新高建設(株), フクヤ建設(株), (有)深瀬電機(※50音順) ・8月1日に本庁舎特別応接室にて表彰式を実施した。	<table><tr><td rowspan="5">自課評価</td><td>R3</td><td>A</td><td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td></tr><tr><td>R4</td><td>A</td></tr><tr><td>R5</td><td></td></tr><tr><td>R6</td><td></td></tr><tr><td>R7</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">◆検証《達成状況, その要因》 ・目標を達成することができた。 ・募集時に, チラシ配付のほか, 商工会議所や青年会議所等の関係団体へ周知を依頼し, 市内事業者に対し, 事業を広く広報したことで目標を超える企業から応募があった。</td></tr></table>	自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5		R6		R7		◆ 検証《達成状況, その要因》 ・目標を達成することができた。 ・募集時に, チラシ配付のほか, 商工会議所や青年会議所等の関係団体へ周知を依頼し, 市内事業者に対し, 事業を広く広報したことで目標を超える企業から応募があった。				◆ 対応《改善, 今後どのようにするか》 ・引き続き募集時の広報や表彰企業のPRをより工夫し, 市内事業者へ男女共同参画の取組の浸透を図っていく。								
自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																										
	R4	A																											
	R5																												
	R6																												
	R7																												
◆ 検証《達成状況, その要因》 ・目標を達成することができた。 ・募集時に, チラシ配付のほか, 商工会議所や青年会議所等の関係団体へ周知を依頼し, 市内事業者に対し, 事業を広く広報したことで目標を超える企業から応募があった。																													
	ワーク・ライフ・バランスの推進	◆ 男女共同参画の視点 育児・介護休業制度の充実やワーク・ライフ・バランスの推進, 女性活躍を支援する取組などを積極的に実施する事業者を表彰することで, 働く場におけるジェンダー平等の意識向上を図る。	<table><tr><td>決算額(千円)</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td></td><td>28</td><td>20</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>担当課</td><td colspan="5">人権同和・男女共同参画課</td></tr><tr><td>写真等</td><td colspan="5"></td></tr></table>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		28	20				担当課	人権同和・男女共同参画課					写真等						◆ 推進委員会の点検項目 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。	◆ 推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																								
	28	20																											
担当課	人権同和・男女共同参画課																												
写真等																													
		◆ 活動指標(目標) 表彰企業数 3社以上		効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。	【課題等】																								
		(参考)関連する数値目標 高知市男女共同参画推進企業の表彰企業数:毎年3社以上		有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																									
				工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																									

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)			
基本目標	3	取組の方向性		◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		自課評価	R3 R4 R5 R6 R7	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 本市の男性職員の育児休業取得率は順調に上昇しているが、国と地方の公務員の取得率の政府目標が引き上げられたこともあり、本市の数値目標について引き上げを検討していく。 また、実効性の高い取組を行っている他都市の事例を参考にしながら、今後の取組について検討を行っていく。
		事業名		・子どもが生まれた男性職員に対し、休暇制度や共済組合の給付制度についてまとめたパンフレットを送付した。					
		29 男性職員の子育て参加の促進		・育児休業を実際に取得した男性職員の名簿や、体験記を庁内掲示し、広く職員全体に対して周知を図った。					
		◆事業(概要)		男性職員の育児休業等の取得促進を図るとともに、子育てに理解ある職場風土の形成を図るため、子育てや関係する各種制度について職員への継続的な情報提供を行う。					
		◆男女共同参画の視点からの目的		男性職員が積極的に育児に参加することで、女性が仕事と子育ての二者択一を迫られる状況の解消につながる。					
ワーク・ライフ・バランスの推進		◆活動指標(目標)		◆推進委員会の点検項目		必要性	【特に良かった点等】 ・男性の育児休業取得率が順調に上昇していることはすばらしいと思う。	◆推進委員会から点検コメント	
		・子どもが生まれた男性職員とその所属長に対し、男性職員が取得できる休暇や共済組合の給付制度についての周知文書を送付する。 ・育児休業を取得した男性職員の名簿や、子育てに関する情報提供を行う。		・事業がプランの数値目標に結びつくか。					【課題等】 ・休暇を取得しない理由は分からないかもしれないが、職場の忙しさや欠員等の理由で申請しづらいこともあると思うので、管理職等からの働きかけも必要では。 ・育児休業取得率は、年々増えてはきているが、7割近い職員は取得していないので、制度はあっても取得しにくいのではないかと。休暇(短期間)の取得率と比べるとかなり低いと思う。 ・育児を取得するには、家事スキルや同時進行で複数のイレギュラーな事務を処理能力を併せ持っている必要がある。入庁10年くらいまでの職員(性別問わず)に、子育て経験職員(性別問わず)から家事・育児・仕事のスキルやタスク管理について教示するような研修を実施できないか。このようなタスク管理について見識を有する外部講師でも良いと思う。No.31「男性対象家事の基礎講座の開催」の變形版を庁内で実施するイメージ。
				担当課		効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。		
				写真等		有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。		
						工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		
									
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しよう									

基本目標		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
3	取組の方向性	ア	事業名		◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》 中小企業等に対する助成制度を中心に、労働関連法の改正等の情報を掲載した。できるだけ多くの方に読んでいただけるように、読者目線で興味を引く内容となるよう心がけた。		◆ 対応《改善、今後どのようにするか》 令和5年度についても、引き続き労働ニュースを発行し、雇用、労働の制度改正に関するニュースを中心に、時宜に合った情報を届ける。		
		30	「高知市労働ニュース」の充実・情報提供の拡充		評価 自課 R3 R4 R5 R6 R7 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)				
		◆ 事業(概要) 平成18年度から発行している「高知市労働ニュース」で労働関係の施策について周知を図る。		◆ 検証《達成状況、その要因》 年4回発行(令和4年度の主な内容) 6月号:ハラスメント防止対策の義務化ほか 9月号:子育てサポート企業の認定制度の改正、令和4年度高知市男女共同参画推進企業表彰式ほか 12月号:高知市技能功労者表彰式、労働者共同組合法の施行ほか 3月号:インボイス制度について					
		◆ 男女共同参画の視点からの目的 働きたい人が性別にかかわらずその能力を十分に発揮できるように、労働者や事業者に対して法や制度の周知を図る。		◆ 推進委員会の点検項目		◆ 推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】			
		◆ 活動指標(目標) ・「高知市労働ニュース」を年4回発行し、情報誌への折込や労働組合等に配布するとともに、市ホームページに掲載し幅広く広報を図る。 ※配布先:情報誌「情報プラットフォーム」:1000部、労働組合:200か所		決算額(千円) R3 9 R4 9 R5 R6 R7 産業政策課 担当課 写真等		◆ 課題等 ・高知市労働ニュースの存在自体を知らない労働者が少なくないように思う。時間をかけて内容を吟味し作ったものを多くの労働者の目に触れてもらう意味でも、労働ニュースの存在を多くに広報することが必要だと思う。 ・「中小企業等に対する助成制度を中心」という取組と、4年度にどのような助成金制度を掲載したのか分かるように記載しておけば、実施内容と掲載内容がリンクしていることが確認できる。予算の都合もあると思うが、紙での配布先はどのような基準になっているのか。ホームページだけでも良いのでは。市の広報紙への折り込みは難しいか。市民対象というよりは、労働組合対応のようなイメージを受ける。			
		(参考)関連する数値目標 高知市男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数:毎年3社以上		◆ 効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。		◆ 有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。		◆ 工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	3	ア	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 男性の家事・介護への参加を促進し、性別役割分担についての気づきやワークライフバランスの充実について考える講座として座学や講話、介護食づくりを実施した。 ①ケアメンをサポート ～介護で慌てないための心構え～ ②ケアメンをサポート ～料理初心者のための介護食づくり～ ③講師＞ ①溝渕由記(高知県介護福祉士会副会長)／ ②荻谷貢(認知症の人と家族の会高知県支部世話人) ③和田房子(居宅療養管理指導事業所ひさ管理栄養士、在宅訪問管理栄養士、病態栄養専門管理栄養士) 実施日 9月11日、11月27日 実施回数 2回 参加者 ①43名(うちオンデマンド36名) ②8名		◆対応《改善、今後どのようにするか》 令和5年度は男性の家事・育児への参加を促進するため、夏休み親子料理教室を新たに加え、家事講座、介護講座の3回を実施予定。			
		31	男性対象家事の基礎講座の開催			評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)			
		◆事業(概要)			◆検証《達成状況、その要因》 感染拡大を考慮し、調理を行う第2回目の定員を12名に制限したことから、講座第2回の目標達成は実施前から困難であったが、事業の趣旨として実習は欠かせないことから大幅に制限して取り組んだものである。 2回で計51名となり、全体の8割を超えていることからBとした。 募集では、ラジオ、市広報紙、ケーブルテレビ、新聞、SNSなど幅広い媒体で広報したが、参加者数が8名にとどまった要因は、介護に当たる当事者が、感染リスクを踏まえて、参加に慎重であったことが考えられ、また、高齢者にはSNSがアクセスしにくい媒体であったことも影響したと思われる。				
		◆活動指標(目標)			自課 評価				
		・男性家事・介護基礎講座 実施回数 2回 参加者数 各30名			R3 R4 R5 R6 R7				
	(参考)関連する数値目標			決算額(千円)		R3 R4 R5 R6 R7			
				担当課		ソール			
				写真等(講座チラシ、講座第2回の様子)					

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	3	事業名		◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 令和4年度は4月に北部地域に新たに1施設開設した。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大による長期間の閉所はなく、ほぼ年間を通して開設することができたが、感染防止対策として人数制限や時間制限を設けての運営となった。 妊娠前から子育て期にかけて、切れ目ない支援を行い、保護者の性別に関わらず、利用することができる施設である。		評価基準 A A R3 R4 R5 R6 R7 自課 評価 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)		◆対応《改善、今後どのようにするか》 令和4年度から北部地域の新施設を加えて、市内16か所の施設で、子育て親子が交流し、相談や情報提供等の援助が得られるよう事業を実施している。 土曜日に6施設、日曜日に4施設、祝日に3施設が開設しており、父親を含め様々な家庭の事情に沿った利用しやすい環境となるよう図っている。 相談 情報提供においては、従来の電話に加え、メールやブログ、SNS等を活用し、保護者等が必要時に情報にアクセスできる環境を整えている。 なお、延べ利用者数の目標については、子ども・子育て支援法に定める市町村事業計画等に対応した本市における子ども・子育て支援を総合的かつ計画的に推進するための計画である「第2期高知市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度～6年度)」にも、子育て支援事業計画(令和2年度～6年度)」にも設定している事業目標値であり、少子化等を勘案しているもののコロナ禍の影響は勘案されていない。 子ども・子育て支援事業計画の目標値が変更された際には本計画の目標値も変更することとなる。	
		32	地域の子育て支援・子育て相談	◆事業(概要) 地域子育て支援拠点事業(子ども育成課・保育幼稚園課所管) 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談や情報提供、助言その他の援助を行う。 【子ども育成課所管】 社会福祉法人に業務委託して市内3か所(南部・西部・東部)の地域子育て支援センターで実施。また、NPO法人が開設している地域子育て支援センター2か所と学校法人が開設している地域子育て支援センター2か所に補助実施。		◆検証《達成状況、その要因》 延べ利用者数: 78,881 人 子ども: 40,602 人 大人: 38,279 人(うち父親 2,891 人) 施設数: 16か所 市内16か所の施設で子育て親子が交流し、相談や情報提供等の援助が受けられるよう図った。 延べ利用者数は目標を上回り、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2～3年度は減少していたが、令和4年度は前年度より14,611人増となった。感染対策を徹底して安心して利用できるよう図るとともに、外出がしにくい状況でもSNSやオンライン(zoom)を活用し、支援が途切れない工夫を行うことで、子育て家庭の孤立化防止につなげるよう努めた。		◆推進委員会からの点検項目 【特に良かった点等】 ・地域子育て支援センターを孫と利用させてもらいました。施設の職員の方が親切で安全にも気を使ってもらいとても良かった。 ・SNSやZOOMの活用もあり、利用者が増加したことは良いことと思う。もつと父親の利用が増えるような取組をお願いする。 【課題等】 ・待機児童問題は改善されていますが、少子化が心配です。地域子育て支援施設や、幼稚園・保育園の運営に影響がでないようしようか。 ・重要な取組なので、ここにお金を掛けることに異論はないが、決算額が突出している。素人の疑問で申し訳ないが、こういった場合、市議会や専門家による精査が行われているか。	
				決算額(千円)		R3 R4 R5 R6 R7 109,979 118,639	◆推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		
				担当課		子ども育成課			
				写真等					
					地域子育て支援センター こもれびテラス				
			◆活動指標(目標) ・施設数(高知市合計)16か所 ・地域子育て支援拠点事業 延べ利用者数(高知市合計)61,600人						
			(参考)関連する数値目標 社会資源「集いの場」状況:705以上						

取組の方向性		基本目標		3		イ	
Plan(計画)		事業名		No.		33	
ファミリー・サポート・センター事業		事業名		No.		33	
◆事業(概要)		事業名		No.		33	
子育てと仕事の両立支援を主な目的とした有償ボランティアによる相互援助活動。育児の援助を受けたい人(依頼会員)と行いたい人(援助会員)が会員となり、ファミリー・サポート・センターが仲介。事業は(公財)高知勤労者福祉サービスセンターに委託して実施。		事業名		No.		33	
・援助内容は、保育施設・学校等への子どもの送り迎え、保育施設の時間外や学校の放課後等、また保護者の病気や冠婚葬祭等の急用時の子どもの預かり など。援助会員になるためには、所定の講習の受講が必要。		事業名		No.		33	
・利用料は援助活動終了後、依頼会員が援助会員に直接支払う仕組み。利用料⇒600円～700円/時間(曜日や時間により異なる)		事業名		No.		33	
◆男女共同参画の観点からの目的		事業名		No.		33	
就労形態の多様化や共働き家庭の増加等を踏まえ、仕事と家庭生活の両立を支援していくことで、男女がともにいきいきと社会参加できる環境づくりに寄与する。		事業名		No.		33	
◆活動指標(目標)		事業名		No.		33	
・会員数 1,300人		事業名		No.		33	
・新規会員数 50人/年		事業名		No.		33	
(参考)関連する数値目標		事業名		No.		33	
—		事業名		No.		33	
Do(実施)		事業名		No.		33	
◆具体的取組(工夫や配慮した点等)		事業名		No.		33	
援助会員募集及び講習会案内を市広報誌に掲載するほか、地域の窓口センターや地域子育て支援センターに会員募集のチラシやファミリーサポートセンターの広報誌を配置してもらい、広く周知を行った。		事業名		No.		33	
令和4年度は昨年度に続き、2か所の地域子育て支援センターでの事業説明会を実施。利用者が依頼会員につながるだけでなく、パート職員が援助会員につながるなど、成果をあげた。		事業名		No.		33	
性別に関わらず要件を満たせば会員登録が可能となっており、援助のマッチングに当たっては、子どもの性格や行動との相性に加え、内容に応じて援助会員個人の得意分野を活かすことができるよう配慮している。		事業名		No.		33	
決算額(千円)		事業名		No.		33	
12,259		事業名		No.		33	
12,767		事業名		No.		33	
担当課		事業名		No.		33	
子ども育成課		事業名		No.		33	
写真等		事業名		No.		33	
R3		事業名		No.		33	
R4		事業名		No.		33	
R5		事業名		No.		33	
R6		事業名		No.		33	
R7		事業名		No.		33	
◆推進委員会の点検項目		事業名		No.		33	
必要性		事業名		No.		33	
効率性		事業名		No.		33	
有効性		事業名		No.		33	
工夫・配慮		事業名		No.		33	
・事業がプランの数値目標に結びつくか。		事業名		No.		33	
・事業実施方法は適切か。		事業名		No.		33	
・事業コスト、費用対効果は適当か。		事業名		No.		33	
・事業の活動指標の達成状況は順調か。		事業名		No.		33	
・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。		事業名		No.		33	
・男女共同参画の観点からの配慮があるか。		事業名		No.		33	
Check(点検)		事業名		No.		33	
R3		事業名		No.		33	
R4		事業名		No.		33	
R5		事業名		No.		33	
R6		事業名		No.		33	
R7		事業名		No.		33	
◆検証《達成状況、その要因》		事業名		No.		33	
令和4年度は、年間3回のコロナ禍以前と同様の援助会員受講が必須の講習会を実施。また、重点地区を設定してのポスティングや量販店・スポーツジム等でのチラシ配置など、PRを強化した。会員数合計は目標を下回ったが、新規会員数は目標を大きく超える成果があった。今後も、援助を希望する人や援助したい人に情報を届けることができるよう広報方法等の工夫・検討を行う。		事業名		No.		33	
会員数合計:1,226人(新規会員合計121人)		事業名		No.		33	
依頼会員登録者数720人(男性42人、女性678人)、4年度新規登録91人(男性5人、女性86人)、		事業名		No.		33	
援助会員登録者数456人(男性29人、女性427人)、4年度新規登録27人(男性3人、女性24人)、		事業名		No.		33	
両方会員登録者数50人(男性1人、女性49人)、4年度新規登録3人(男性0人、女性3人)。		事業名		No.		33	
◆推進委員会から点検コメント		事業名		No.		33	
【特に良かった点等】		事業名		No.		33	
【課題等】		事業名		No.		33	
・保育・幼稚園等施設保育では対応が難しい場合の保育手段として有効性は大きい認めざるを得ない(1時間600～700円)は共働きで二人とも正規の安定した職場に勤務するゆとりある世帯以外の世帯、一人親・非正規就業世帯などでは利用を躊躇する金額である(研究、現地調査等から)。世帯の状況により時間当たり使用料を一定補助する等の措置の導入・検討を求めたい(九州では県・市町村により時間利用料を100～200円程度補助あり)。		事業名		No.		33	
Action(見直し)		事業名		No.		33	
◆対応《改善、今後どのようにするか》		事業名		No.		33	
よりスムーズにマッチングをするために、援助会員の拡大を図る。その取り組みとして、援助会員数が少なく依頼ニーズの高い地区でのポスティングや店舗等でのPR強化を行う。		事業名		No.		33	
また、必要な子育て家庭が必要な支援につながるよう、今後も継続して地域子育て支援センターに市職員が出向き、事業説明会を行う。		事業名		No.		33	

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)						
基本目標	取組の方向性											
	3	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》				◆対応《改善、今後どのようにするか》					
		No.	・地域子育て支援センター事業では、施設ごとに毎月のおたよりの発信や、ホームページやInstagramを活用して活動の様子などを知ってもらえるようPRの工夫をした。また、育児講座などの開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染対策として、内容の工夫や定員を設けたり、予約制にするなどで、安心して参加できるよう配慮した。				・ホームページやInstagramなどを活用し、子育て世帯に地域子育て支援センターの存在やどんな施設かを知ってもらえるよう情報提供を継続していく。また、行ってみたいと思ってもらえるような育児講座など取り入れ、毎月のおたよりでも発信するなどして、利用者の増加につなげたい。					
		34	多様な保育サービスの充実				・利用者支援では、教育・保育施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるよう情報提供を行い、利用にあたっての不安などに対し、丁寧に関き取りを行うなど、きめ細やかな支援体制を継続していく。					
			◆事業(概要)				◆推進委員会から点検コメント					
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充	・地域子育て支援センター事業(一般型)…子育て家庭への交流の場の提供と交流の促進、地域の子育て情報の提供や育児講座の実施、育児相談への対応等を行う。 ・子育て相談事業…子育て相談、園庭開放等 ・利用者支援事業…子ども・子育て相談支援員を配置し、きめ細やかな支援を行う。				【特に良かった点等】 ・地域子育て支援センターを孫と利用させてもらいました。施設の職員の方が親切で安全にも気を使ってもらいとても良かった。						
		◆男女共同参画の視点からの目的				【課題等】 ・待機児童問題は改善されていますが、少子化が心配です。地域子育て支援施設や、幼稚園・保育園の運営に影響がでないでしょうか。						
		地域での人間関係の希薄化や、子育ての孤立化は深刻な状況であり、子育て不安は高まっている。こうした状況を改善するため、支援体制の充実を図る。親子を、また親同士を「つなぐ」という取組みが重要になってきており、地域ぐるみで子育てを進めていくことが大切であると考えている。										
		◆活動指標(目標)										
		・地域子育て支援センターの利用者数の維持又は増加を目指す。										
	(参考)関連する数値目標											
	待機児童数:0人											
		決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7					
			488,265	41,583								
		担当課	保育幼稚園課									
		写真等										
		「おおっ・にじいろひろばのおたより」										
		工夫・配慮										
		・男女共同参画の視点からの配慮があるか。										

R4【No.35】

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)				
基本目標	3	ウ	事業名		◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		◆対応《改善、今後どのようにするか》					
			No.	事業名		・県内の工業系高校や大学に具体的な業務内容、勤務条件に福利厚生制度等を加えた職場の魅力を積極的に広報し、インターンシップ生として学生を受け入れた。また、仕事内容について具体的にイメージできるよう、採用ガイドブックに先輩職員の声を掲載した。						
		36		高知市職員の技術職に占める女性の割合の向上		・ノー残業デー(毎週水曜日)の実施。夏季休暇取得時に計画的な年休取得を通知。						
			◆事業(概要)		・人事考課、職員申告書、所属長からのヒアリング等をもとに、職員の状況を把握し配属先の配慮に務めた。							
			◆男女共同参画の視点からの目的		・仕事と育児・介護の両立のためのハンドブックを作成し、休暇等の周知に努めた。							
女性活躍の推進					決算額(千円)		R3	R4	R5	R6	R7	
					担当課		0	0	人事課			
					写真等		求人財。					
					◆活動指標(目標)		・インターンシップの受入れ、県内の高校・大学等での具体的な業務内容や福利厚生事業の説明等、採用後のイメージを持ちやすいような職場案内を積極的に行っていく。					
					(参考)関連する数値目標		高知市職員の技術職に占める女性の割合:15%以上					

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)																																														
基本目標	3	ウ	<table><tr><td>No.</td><td>事業名</td></tr><tr><td>37</td><td>ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援</td></tr></table>	No.	事業名	37	ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援	<table><tr><td colspan="2">◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</td></tr><tr><td colspan="2">・利便性の高いLINE相談等を実施し、支援対象者でありながら、必要な支援を受けられないひとり親家庭に対し、自立に向けた適切な支援を受けられるようにした。</td></tr><tr><td colspan="2">・弁護士や司法書士だけでなく、心理カウンセラー、キャリアコンサルタント、社会福祉士、ファイナンシャルプランナーの専門家相談を行い、様々な相談ができるようにしている。</td></tr><tr><td colspan="2">・前年に引き続き、オンライン相談も実施。</td></tr></table>	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		・利便性の高いLINE相談等を実施し、支援対象者でありながら、必要な支援を受けられないひとり親家庭に対し、自立に向けた適切な支援を受けられるようにした。		・弁護士や司法書士だけでなく、心理カウンセラー、キャリアコンサルタント、社会福祉士、ファイナンシャルプランナーの専門家相談を行い、様々な相談ができるようにしている。		・前年に引き続き、オンライン相談も実施。		<table><tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>決算額(千円)</td><td>5,300</td><td>6,154</td><td></td><td></td></tr><tr><td>担当課</td><td colspan="4">子育て給付課</td></tr><tr><td>写真等</td><td colspan="4"></td></tr></table>	R3	R4	R5	R6	R7						決算額(千円)	5,300	6,154			担当課	子育て給付課				写真等					<table><tr><td>評価基準</td><td>C</td></tr><tr><td>A: 目標達成(100%以上)</td><td>B</td></tr><tr><td>B: 概ね達成(80~100%未満)</td><td></td></tr><tr><td>C: 少し下回った(60~80%未満)</td><td></td></tr><tr><td>D: 大きく下回った(60%未満)</td><td></td></tr></table>	評価基準	C	A: 目標達成(100%以上)	B	B: 概ね達成(80~100%未満)		C: 少し下回った(60~80%未満)		D: 大きく下回った(60%未満)		◆対応《改善, 今後どのようにするか》
	No.	事業名																																																				
	37	ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援																																																				
	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》																																																					
	・利便性の高いLINE相談等を実施し、支援対象者でありながら、必要な支援を受けられないひとり親家庭に対し、自立に向けた適切な支援を受けられるようにした。																																																					
・弁護士や司法書士だけでなく、心理カウンセラー、キャリアコンサルタント、社会福祉士、ファイナンシャルプランナーの専門家相談を行い、様々な相談ができるようにしている。																																																						
・前年に引き続き、オンライン相談も実施。																																																						
R3	R4	R5	R6	R7																																																		
決算額(千円)	5,300	6,154																																																				
担当課	子育て給付課																																																					
写真等																																																						
評価基準	C																																																					
A: 目標達成(100%以上)	B																																																					
B: 概ね達成(80~100%未満)																																																						
C: 少し下回った(60~80%未満)																																																						
D: 大きく下回った(60%未満)																																																						
		女性活躍の推進																																																				
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう		◆男女共同参画の視点からの目的				◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント																																														
		従前は母子及び寡婦家庭中心の支援であったが、近年は支援の対象を父子家庭も含めたひとり親家庭全般とし、様々な悩みに適切な助言を与えることで生活の安定を図り、就業相談の内容を充実させることによって経済的な自立を目指す。				必要性		【特に良かった点等】																																														
						効率性																																																
						有効性		【課題等】																																														
						工夫・配慮																																																
						・男女共同参画の観点からの配慮があるか。																																																

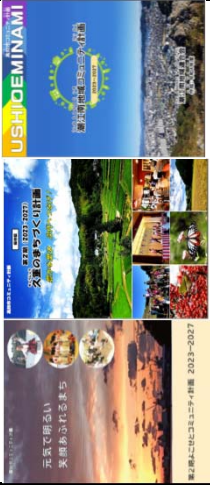
Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
基本目標	取組の方向性	女性活躍の推進						
	3	ウ	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 各セミナーは、新型コロナウイルス対策を徹底して実施した。 参加者は、就職につなげられるように、企業側の人材登用ニーズを踏まえたセミナーのテーマ設定等を検討した。 求職者側と求人側の双方のニーズをマッチングさせるため、セミナーや合同面接会等への参加者のうち希望者を高知市無料職業紹介所の登録につなげ、継続的な支援を行った。				◆対応《改善、今後どのようにするか》 令和5年度の各事業について、次のとおり対応することとする。 ①地域雇用活性化推進事業 国の委託事業である地域雇用活性化推進事業(接客・販売力向上セミナー・面談会等)を実施し、目標値の達成を図る。 ②高知市無料職業紹介所 本事業と連携して進めている地域雇用活性化推進事業で実施したセミナー受講者に対し、直接面談による職業紹介を実施するなど根拠強くサポートを続けていく。	
			No.	事業名	R3	B	◆推進委員会から点検コメント	
		38	雇用促進・就労支援		R4	C	【特に良かった点等】	
			◆事業(概要) 就職氷河期世代を対象とした就職支援のためセミナーや、地域雇用活性化推進事業による女性や高齢者等を対象にした就職支援セミナーや企業説明会等を開催し、就職につなげる。 また、セミナー等の受講後は、高知市無料職業紹介所に登録いただき、性別・年齢にかかわらず継続的な就職支援を行う。		R5		【課題等】 ・女性活躍の推進に紐づけるのであれば、女性の就労支援への取組ということを強調しないと、取組の方向性と合致しているのか分りづらいところがある。No.40「女性のための就労支援講座」とタイアップした事業として位置付けることもできるのではないかと思う。	
		◆男女共同参画の視点からの目的 就職氷河期世代をはじめ、女性や高齢者等さまざまな年代層を対象としたセミナー等の実施により、性別や年齢にかかわらず、男女ともにいきいきと働ける社会の実現に寄与する。		R6				
		◆活動指標(目標) ・就職氷河期世代支援事業や雇用活性化推進事業による就職支援のセミナーの参加者数、セミナー受講後の就職者数(高知市無料職業紹介所による就職者を含む。) 参加者:197人 就職者数:92人		R7				
		(参考)関連する数値目標	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7
			14,978	17,138	産業政策課			
			担当課	写真等				
				効果率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。				
				有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。				
				工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。				

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)			
基本目標	3	ウ	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		R3		◆対応《改善, 今後どのようにするか》			
		39	女性消防吏員増加に向けた取組み	・コロナのため、開催回数は1度となったが、高等学校で行った採用説明会に若年層の女性消防吏員を派遣し、生の声を聞けるとともに作成したチラシを配布した。 ・社会人向けの1Dayインターンシップを実施し、2名の女性が参加してくれた。その際に女性消防吏員が説明や質疑応答をした。 ・消防局公式のSNSに写真や動画を投稿する際に、女性消防吏員にも登場してもらっている。		R4 R5 R6 R7		・今後、採用説明会等の機会が増加していくことが見込まれるため、積極的に参加し、また、これまでのように女性消防吏員にも対応してもらう。			
			◆事業(概要)	女性消防吏員の増加に向け、女性消防吏員を起用した広報に取り組むとともに、採用説明会等への現役の女性消防吏員の派遣によりその存在を印象付け、消防職員採用試験及び女性受験者数の増加を図る。		◆検証《達成状況、その要因》		・チラシの配付にも枚数などの限度があるため、SNSを活用した消防広報にも男性消防吏員と活動を共にする女性消防吏員などを投稿することで、男女の垣根がない活動をさらに周知する。			
			◆男女共同参画の視点からの目的	警察・自衛隊・海保など公安職の中では消防職が女性職員の比率が最も低いため、総務省消防庁から「消防本部における女性消防吏員の更なる活躍に向けた取組の推進について(平成27年消防庁次長通知)」による女性消防吏員の活躍推進のための積極的な取組の要請があった。市としても、多様な視点・経験を有する職員による対応能力・市民サービスの向上につなげ、さらなる組織の活性化・強化のため、女性消防吏員の増加を目指すとともに、女性の職域拡大により、女性の活躍推進を図る。		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント			
				決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	【特に良かった点等】 ・インターンシップの取組はとても良いと思う。職場環境の改善意見なども聞いて、女性に配慮した職場環境を作ること、男女とも働きやすい職場になると思う。	
				担当課	消防局総務課						
				写真等	・事業がプランの数値目標に結びつくか。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。						
				有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。						
				工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。						

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	3	事業名		◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		評価基準		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 就労支援パソコン講座 以下のとおり, 受講者のニーズに合うコースが 選択できるよう構成を見直した。 ワードエクセルの超基礎から学べる講座(各1 回) エクセル検定対策講座(1回)及び検定実施 実施 7月 定員各講座15名 就労支援講座 職場で活用できるコミュニケー ションスキルを身に付ける講座を実施 10月予定 (テーマ:セルフプロデュース力)	
	ウ	No.	参加者数 29 名(2回) 実施日 7月9～10日, 23～24日 ・ひとり親家庭支援センターとの共催 ・2日で学ぶエクセル基礎講座と題して実 施	就労支援パソコン講座(エクセル基礎講座)		自課	R3		B
	40	女性のための就業支援講座	就労支援講座「対話力トレーニング コミュニケーションの基本, オンライン面接のコツとポイント 参加者数 14名 実施日 8月28日		評価	R4	B		
	◆事業(概要)		仕事に必要不可欠となったPCスキルやコミュニ ケーションスキルを身に付ける機会を提供し, 女 性活躍の機会を後押しした。 ＜パソコン講座(2回)＞ 2回とも定員を上回る申込あり。当日連絡無しの 欠席による1名減はやむを得ないと思える。 参加者にスキルのバラツキが大きく, よりニーズの あった構成が必要。 ＜対話力トレーニング＞ 急速に普及したオンライン化を受けての内容とし たところ, 定員を上回る申込があった。定員を下 回ったのは, 実施日が, 「BA.5対策強化宣言」期 間であったことが影響したと思われる。		R5				
	◆就労支援講座		決算額 (千円)		R6				
女性活躍の推進		◆男女共同参画の視点からの目的		担当課		R7			
		パソコンスキル等, 職場で活用できるさ まざまなスキルを身につけることで, 仕事 選びの幅を広げ, 女性活躍の機会を増 やす。		写真等(パソコン講座 左:チャリシ、右上:講座 右下:対話力トレーニング)		R7			
		◆活動指標(目標)		ソール					
		・就労支援講座(エクセル基礎講座) 実施回数 2回 参加者数 各15名 ・就労支援講座 参加者数 20名		561		592			
		(参考)関連する数値目標		592					
		—							

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	取組の方向性						
	4	ア	事業名		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 【地域内連携協議会】R5年度の設立を目指し現在、泉野地域で取組を進めている。 【新コミュニティ計画】R5年度の策定を目指し第六地域と潮江東地域でまちづくりに関する地域住民へのアンケートや、策定会議等を通じて、男女を問わず、大人から子どもまで幅広い世代に参画してもらい、多様な意見を計画に反映できるように努める。		
			41	地域コミュニティ再構築事業		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 【地域内連携協議会】R5年度の策定を目指し現在、泉野地域で取組を進めている。 【新コミュニティ計画】R5年度の策定を目指し第六地域と潮江東地域でまちづくりに関する地域住民へのアンケートや、策定会議等を通じて、男女を問わず、大人から子どもまで幅広い世代に参画してもらい、多様な意見を計画に反映できるように努める。	
				◆事業(概要)		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 【地域内連携協議会】R5年度の策定を目指し現在、泉野地域で取組を進めている。 【新コミュニティ計画】R5年度の策定を目指し第六地域と潮江東地域でまちづくりに関する地域住民へのアンケートや、策定会議等を通じて、男女を問わず、大人から子どもまで幅広い世代に参画してもらい、多様な意見を計画に反映できるように努める。	
				伝統的な地縁組織などが家族構成の変化や少子化・高齢化、また人口減少社会の到来などによって、将来的な住民自治活動の継続が懸念される中で、今後の地域コミュニティのあり方、協力信頼による住民自治の継続、市民と行政の協働のまちづくりの仕組みづくりを目指すもの。 なお、主な事業として、地域内での連携・協力によって地域課題の解決を目指す仕組みである「地域内連携協議会」の設立・運営に関する支援や地域の将来を見据えた「新コミュニティ計画」の策定・推進がある。		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 【地域内連携協議会】R5年度の策定を目指し現在、泉野地域で取組を進めている。 【新コミュニティ計画】R5年度の策定を目指し第六地域と潮江東地域でまちづくりに関する地域住民へのアンケートや、策定会議等を通じて、男女を問わず、大人から子どもまで幅広い世代に参画してもらい、多様な意見を計画に反映できるように努める。	
			◆男女共同参画の視点からの目的		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 【地域内連携協議会】R5年度の策定を目指し現在、泉野地域で取組を進めている。 【新コミュニティ計画】R5年度の策定を目指し第六地域と潮江東地域でまちづくりに関する地域住民へのアンケートや、策定会議等を通じて、男女を問わず、大人から子どもまで幅広い世代に参画してもらい、多様な意見を計画に反映できるように努める。		
			住民自治活動や市民と行政の協働のまちづくりを進めるうえで、女性の参画により、多様な市民の意見を反映させることができる。		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 【地域内連携協議会】R5年度の策定を目指し現在、泉野地域で取組を進めている。 【新コミュニティ計画】R5年度の策定を目指し第六地域と潮江東地域でまちづくりに関する地域住民へのアンケートや、策定会議等を通じて、男女を問わず、大人から子どもまで幅広い世代に参画してもらい、多様な意見を計画に反映できるように努める。		
			◆活動指標(目標)		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 【地域内連携協議会】R5年度の策定を目指し現在、泉野地域で取組を進めている。 【新コミュニティ計画】R5年度の策定を目指し第六地域と潮江東地域でまちづくりに関する地域住民へのアンケートや、策定会議等を通じて、男女を問わず、大人から子どもまで幅広い世代に参画してもらい、多様な意見を計画に反映できるように努める。		
			地域内連携協議会の認定(のべ数):31 地域(32小学校区)		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 【地域内連携協議会】R5年度の策定を目指し現在、泉野地域で取組を進めている。 【新コミュニティ計画】R5年度の策定を目指し第六地域と潮江東地域でまちづくりに関する地域住民へのアンケートや、策定会議等を通じて、男女を問わず、大人から子どもまで幅広い世代に参画してもらい、多様な意見を計画に反映できるように努める。		
			(参考)関連する数値目標		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 【地域内連携協議会】R5年度の策定を目指し現在、泉野地域で取組を進めている。 【新コミュニティ計画】R5年度の策定を目指し第六地域と潮江東地域でまちづくりに関する地域住民へのアンケートや、策定会議等を通じて、男女を問わず、大人から子どもまで幅広い世代に参画してもらい、多様な意見を計画に反映できるように努める。		
			高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 【地域内連携協議会】R5年度の策定を目指し現在、泉野地域で取組を進めている。 【新コミュニティ計画】R5年度の策定を目指し第六地域と潮江東地域でまちづくりに関する地域住民へのアンケートや、策定会議等を通じて、男女を問わず、大人から子どもまで幅広い世代に参画してもらい、多様な意見を計画に反映できるように努める。		

地域活動における女性の参画の促進									
地域で、防災で、男女共同参画をすすめてみましょう									
◆推進委員会の点検項目			◆推進委員会から点検コメント						
必要性			【特に良かった点等】						
・事業がプランの数値目標に結びつくか。									
効率性			・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。						
有効性			・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。						
工夫・配慮			・男女共同参画の視点からの配慮があるか。						



Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)
基本目標	取組の方向性					
	4	ア				
地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう		地域活動における女性の参画の促進				
事業(概要)		No.	事業名			
		42	スポーツ指導者の育成			
◆男女共同参画の視点からの目的						
◆活動指標(目標)						
(参考)関連する数値目標						
◆具体的取組《工夫や配慮した点等》						
◆検証《達成状況、その要因》						
◆推進委員会の点検項目						
◆推進委員会から点検コメント						
【課題等】						

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)											
基本目標	取組の方向性																
	4	地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう															
	A	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 令和4年度中に南部分団屯所の移転新築工事を行い、令和4年7月31日に竣工。トイレ等、女性団員に配慮した構造となっている。															
	43	消防団の充実強化															
	No.	事業名															
◆事業(概要)		令和4年度は女性団員による活動検討会を5回予定し、研修や講習会を実施し、意見の交換が行われた。		評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)		◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・令和4年度に完成した南部分団屯所は、3年度完成した御量瀬分団屯所と同様に、女性団員に配慮した構造となっている。 ・4年度は5回の女性団員活動検討会を実施した、今後は回数ではなく、会議の内容に重点を置いていく必要がある (女性団員は61人在籍※R5.1時点)											
◆男女共同参画の視点からの目的		事業の実施により、消防団の役割や必要性の周知を図るとともに、男女共同参画を推進し、地域防災における女性の参画の促進をすすめる。		◆検証《達成状況、その要因》 南部分団屯所の建設は予定どおりの日程で完成、引き渡しが完了した。 女性団員の活動検討会は、予定していた回数を実施することができ、年度当初の目標は達成できた。		◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】											
◆活動指標(目標)		活躍する女性消防団員の意見を伺いながら、消防団の活性化を図り、広報活動等に活かして女性消防団員の増加及び男女共同参画や地域防災活動の普及啓発を行う。		決算額(千円)		R3		R4		R5		R6		R7			
				0		-		R3		R4		R5		R6		R7	
				消防局総務課													
				写真等													
																	

Plan(計画)		Do(実施)							Check(点検)		Action(見直し)			
基本目標	取組の方向性	防災分野における女性の参画の促進												
	4	地域で、防災で、男女共同参画をすすめてみましょう												
	事業名	No.	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》							評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》			
		45	避難所運営体制の整備											
	◆事業(概要)		大規模災害発生時に避難者が避難所を自主運営できるよう、避難所ごとに「避難所運営マニュアル」を作成する。 また、マニュアルを用いた避難所開設・運営訓練を実施し、マニュアルの効果検証を行う。							◆検証《達成状況、その要因》		◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】	【課題等】 ・マニュアルに女性もメンバーに入ってもらったよう明記するのは重要だが、自主防災組織の現在の体制(役員配置)の検証も必要では。(中核メンバーが男性で占められ、性による分業で運営されていると、マニュアルに明記されても実効を伴わない。)	
	◆男女共同参画の視点からの目的		・避難所の運営マニュアル作成時に男女共同参画の視点を導入する。 ・避難所開設訓練で男女共同参画の視点を導入する。							・令和4年度に作成を予定していた施設のマニュアルは、すべて作成を完了した。(令和4年度目標16施設、実績:16施設)				
	◆活動指標(目標)		男女共同参画の視点を導入した避難所運営マニュアルの作成施設数の増加(令和4年度実績:16施設)							◆推進委員会の点検項目				
	(参考)関連する数値目標		—							必要性				
			決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	・事業がプランの数値目標に結びつくか。					
			担当課	地域防災推進課							効率性		・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	
			写真等								有効性		・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	
											工夫・配慮		・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	

Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)					Action(見直し)	
基本目標	取組の方向性	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 令和4年度は、地震や豪雨災害、災害時応急手当や避難生活における男女共同参画の視点などについて開講し、新たなテーマとして、事前復興を取り上げた。 また、以前からの課題であったサテライト会場への映像音声配信、欠席者用DVDの質を上げるため、撮影・録音の質を上げるよう対策を講じ、鮮明な映像音声配信することができた。 令和4年度は定員を160人として、5月9日から6月10日の間で募集を行い、高知市会場については、定員に達したため、6月1日に受付を終了した。											
	4	No.	事業名					R3	A		◆対応《改善、今後どのようにするか》 防災人づくり塾のサテライト会場の運営を継続することさらに多くの圏域住民が防災に関する知識を身につけ、圏域全体の防災力向上が図られるよう取り組んでいく。 サテライト会場の運営に関しては参加者や圏域市町村からの要望等を踏まえ、令和5年はリアルタイム配信ではなく、各会場において高知市会場の講義を録画したDVDを上映するよう運営方法を変更する。 引き続き、託児サービスを行うなど、幅広い住民に参加してもらうための運営の検討を行うとともに、防災における男女共同参画の視点に関する講座等を行い、受講者に啓発をしていく。		
		46	れんけいこうち防災人づくり塾					R4	A				
								R5					
								R6					
							R7						
							◆検証《達成状況、その要因》 令和4年度れんけいこうち防災人づくり塾修了者数(サテライト3会場含む):167人 内訳:男性69人(約41%),女性98人(約59%) 受講者アンケート結果(高知市会場) Qお住まいの地域防災活動に男性・女性の意見が反映されていると感じるか。※()は前年数値 ①男性の意見が反映されていない1%(5%) ②女性の意見が反映されていない14%(18%) ③どちらも反映されている14%(12%) ④分からない70%(55%) ⑤無回答1%(0%) 防災士認定登録者数に占める女性の割合:34.1%(R4)						
							◆推進委員会の点検項目						
							◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】						
							【悪かった点、課題等】						

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	4	イ		◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 男性中心で構成されることが多い地域の防災組織等で、女性が積極的に参画し、地域での活躍につなげるための講座を開催した。(7回) 6回目を公開講座とし、講師の厚意により理解を深めるための7回目も実施した。 〈講師〉 神原咲子(神戸市看護大学教授／高知県立大学看護学部特任教授) その他ゲスト講師 実施日 ①6月25日 ②7月9日 ③7月30日 ④8月27日 ⑤9月10日 ⑥10月1日 ⑦11月26日 参加者 会場147名 オンライン9名 うち公開講座 40名		◆検証《達成状況、その要因》 防災における男女共同参画の視点の大切さを学び、防災力をつけることで地域の中における防災活動の場に出て活躍できる女性の育成を行った。 公開講座(防災講演会)を開催し、オープン参加とすることで、男女問わず、女性の防災分野への参画について考えていただく機会となった。 修了生が自主的な活動組織を立ち上げており、講座運営にも積極的に関わるほか、男女共同参画の視点で防災講座を企画実施するなど、講座受講後の活動が見える化している。		◆対応《改善、今後どのようにするか》 講座修了生が主体的に地域に関われるよう、後押ししていく。次年度は助成金を活用し、拡充し実施する。(※休眠預金活用事業) (1)育成プログラム 講座「女性防災プロジェクト」の実施(場所 ソーレ、西部、東部)※西部 R5のみ、東部R6のみ、ソーレはR5、6各1回 (2)被災地訪問 R5:宮城県 2泊3日 (3)修了生の地域活動(修了生と大学生等による避難所マニユアルの検討など) (4)修了生の活動支援(ソーレに支援窓口設置) (5)地域フォーラムの開催(R5 西部 R6 東部) (6)ジェンダー視点の講座等の実施 ※休眠預金活用事業は、休眠預金等交付金にかかる資金を活用した事業として内閣府が認可した団体(一般社団法人日本民間公益活動連携機構)が資金を助成し、公募による採択団体が実行する。	
		事業名		評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)		R3 R4 R5 R6 R7			
		47 女性防災プロジェクト		自課 評価		R3 R4 R5 R6 R7			
		◆事業(概要)		◆検証《達成状況、その要因》		R3 R4 R5 R6 R7			
		・女性防災プロジェクト(連続講座)		防災における男女共同参画の視点の大切さを学び、防災力をつけることで地域の中における防災活動の場に出て活躍できる女性の育成を行った。		R3 R4 R5 R6 R7			
	◆男女共同参画の視点からの目的 男性中心で構成されることが多い地域の防災組織等に対し、女性が積極的に発言するための知識を深め、地域での活躍につなげる。		◆検証《達成状況、その要因》 修了生が自主的な活動組織を立ち上げており、講座運営にも積極的に関わるほか、男女共同参画の視点で防災講座を企画実施するなど、講座受講後の活動が見える化している。		R3 R4 R5 R6 R7				
	◆活動指標(目標)		担当課		R3 R4 R5 R6 R7				
	・女性防災リーダー養成推進講座(連続講座・5回) 参加者数20名(第1回は公開講座 60名)		写真等 公開講座の様子		R3 R4 R5 R6 R7				
	(参考)関連する数値目標 防災士認定登録者に占める女性の割合:50%以上				R3 R4 R5 R6 R7				

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)				
基本目標	取組の方向性	ア	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		◆検証《達成状況、その要因》		◆対応《改善、今後どのようにするか》			
		No.	事業名		評価基準					
		48	さまざまな世代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等の開催		A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)					
		◆事業(概要)		◆検証《達成状況、その要因》						
		・いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操、しやしき百歳体操の実施 ・低栄養予防(栄養改善活動)事業の実施 ・いきいき百歳サポーター育成教室の実施		元々、いきいき百歳体操を開始して20年経過していることもあり、参加者やお世話役の高齢化に伴い継続支援に課題があったが、加えてここ数年での新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、廃止会場が相次ぎ、参加者数も大幅に減少してきている。 令和4年度は、新規立ち上げ件数は、いきいき4会場、かみかみ7会場、しやしき3会場が開設することが出来た。実際には廃止会場のほうが上回り、市内の実施箇所数は令和2年度から減少傾向にあり。令和4年度末の実施箇所数は353か所となっている。 ・いきいき百歳体操参加者数6,423人／年 ・実施箇所割合5%、理解度100%						
◆男女共同参画の視点からの目的		決算額(千円)		R3	R4	R5	R6	R7	◆推進委員会から点検コメント	
		31,638		28,845				【特に良かった点等】		
		担当課		基幹型地域包括支援センター						
		写真等								
		◆活動指標(目標)		必要性						
		・いきいき百歳体操参加者数9,000人／年 ・いきいき百歳サポーター新規育成数120人／年 ・いきいき百歳体操等会場における低栄養予防啓発活動の実施箇所割合30%、参加者の理解度 70%		・事業がプランの数値目標に結びつくか。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。						
		(参考)関連する数値目標		効果率性						
		健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.27年 女性21.77年		有効性						
				工夫・配慮						
				・男女共同参画の視点からの配慮があるか。						

生涯にわたる健康生活を充実させましょう

あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援

基本目標	5	生涯にわたる健康生活を充実させましょう	
取組の方向性	ア	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援	
Plan(計画)	◆事業(概要) 市立公民館で年間を通じて各種講座を開設し、広く市民に生涯学習の機会を提供する。 ◆男女共同参画の視点からの目的 性別・年齢を問わず、生きがいづくりと健康増進、また受講生同士の交流の場となるような講座を実施する。 ◆活動指標(目標) ・中央公民館各種講座等受講者数(3,000人) ・地域の市立公民館事業参加者数(3,000人) (参考)関連する数値目標 健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.27年 女性21.77年		
Do(実施)	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・国や県の新型コロナウイルス感染症予防対策を参考に感染予防策を確立し、受講生が安心して参加できる環境作りに努めた。 ・文化プラザ長寿寿命化整備工事に伴う中央公民館の休館期間においては、市民の生涯学習の機会を確保するために、代替施設(オーテピア高知図書館、県立美術館ホール)を利用して一部の講座等を実施した。 ・地域の市立公民館では、講座開催時のコロナの感染状況にあわせて参加者数を流動的に調整できるよう定員数に幅をもたせ募集し、一人でも多くの市民が参加できるよう努めた。		
Check(点検)	◆検証《達成状況、その要因》 ・中央公民館の前期の講座については、コロナウイルス感染予防策として、募集定員を会場定員の1/2に縮小した。 中央公民館各種講座等受講者数 1,738人 ・地域の市立公民館で実施した受講後のアンケート調査で、生涯学習の中で身に付けた知識や技術を活かそうとしている人の割合は、R4年度は96.8%と高い数値を維持している。 (参考:R3年度 96%) 地域の市立公民館事業参加者数 4,142人		
Action(見直し)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・中央公民館は整備工事後の講座ということもあり、注目が集まる。各室に沿った内容を盛り込み、受講者のニーズに応じていく。 ・地域の市立公民館では受講者アンケートの意見をふまえ、市民のニーズに応える教養や能力の向上を目的とする学習のほか、地域の課題解決につながる学習内容の提供に努める。 ◆推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。 ◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 【課題等】		

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
取組の方向性	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 令和4年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、地区運動会2地区のみ。他事業については一部開催を中止。 近隣地区合同スポーツイベントは、3地区。地区体育会指導者研修会補助事業は1地区開催した。		R3		D	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善, 今後どのようにするか》 男女ともに健康増進のためにスポーツに触れる機会を提供できるように, 新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら, 体育事業を実施していく。
	◆事業(概要) 小学校区ごとに設置の地区体育会で開催される地区運動会や近隣地区合同スポーツイベント等が実施されるよう地区体育会への活動支援を実施し, 男女ともに年齢を問わずスポーツに触れる機会の提供を図る。		R4		C		
	◆男女共同参画の視点からの目的 生涯を通じた健康支援のため男女ともに, スポーツ活動に親むことができるよう, 生涯スポーツ社会の実現を目指す。		R5				
	◆活動指標(目標) 地区体育会での地区運動会の開催 近隣地区合同スポーツイベントの実施		R6				
	(参考)関連する数値目標 健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.27年 女性21.77年		R7				
基本目標	5	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援	決算額 (千円)	R3 677	R4 1,381	R5 R6 R7	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】
			担当課	スポーツ振興課			【課題等】
			写真等				

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
基本目標	5	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		評価基準		◆対応《改善, 今後どのようにするか》		
		51	がん検診	○4月:年度末年齢42～45歳の方のうち前年度に受診していない方と、46～63歳の方のうち過去5年間に高知市実施の検診の受診履歴のある方で前年度に受診していない方へ、乳がん検診・子宮頸がん検診個別受診券と集団案内を送付。 ○6月:乳がん検診は年度末年齢が41歳、子宮頸がん検診は年度末年齢が21歳の方へ、無料クーポン券付受診券を送付。 ○広報あかるいまち7月号で乳がん検診と子宮頸がん検診の受診啓発記事を掲載。 ○9月:JA高知市の広報誌「グリーン広場」9月号配布時に、がん検診受診案内のチラシを配布 ○10月:高知市内の町内会へがん検診の受診案内の回覧を依頼。 ○12月:高知市のがん検診を未受診の方がいる世帯へ受診案内はがきを送付。 ○1月:高知市成人式で配布されるチラシに子宮頸がん検診受診案内を掲載。 ○2月:高知市内の町内会へ次年度の集団検診の受診案内の回覧を依頼。 ○2月:次年度の集団検診申込書を送付。		自課評価			◆推進委員会から点検コメント	
				R3	R4	R5	R6			R7

基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																																																																																	
5	ア	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援		<table><tr><td>No.</td><td>事業名</td></tr><tr><td>52</td><td>成人歯周病検診</td></tr><tr><td colspan="2">◆事業(概要)</td></tr><tr><td colspan="2">かかりつけ歯科医を持つ割合の少ない壮年期の節目年齢である40歳、50歳(年度末年齢)の市民を対象に、歯周病検診を委託歯科医療機関における個別検診により実施する。</td></tr><tr><td colspan="2">◆男女共同参画の視点からの目的</td></tr><tr><td colspan="2">市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるように、生活習慣病などの全身疾患に関連する歯周病を早期に発見し、歯科受診のきっかけづくりとして、成人歯周病検診を実施する。</td></tr><tr><td colspan="2">◆活動指標(目標)</td></tr><tr><td colspan="2">・受診者数 430人</td></tr><tr><td colspan="2">(参考)関連する数値目標</td></tr><tr><td colspan="2">健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.27年 女性21.77年</td></tr></table>	No.	事業名	52	成人歯周病検診	◆事業(概要)		かかりつけ歯科医を持つ割合の少ない壮年期の節目年齢である40歳、50歳(年度末年齢)の市民を対象に、歯周病検診を委託歯科医療機関における個別検診により実施する。		◆男女共同参画の視点からの目的		市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるように、生活習慣病などの全身疾患に関連する歯周病を早期に発見し、歯科受診のきっかけづくりとして、成人歯周病検診を実施する。		◆活動指標(目標)		・受診者数 430人		(参考)関連する数値目標		健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.27年 女性21.77年		<table><tr><td colspan="4">◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</td></tr><tr><td colspan="4">・高知市近隣の市町村でも受診できるよう県内統一広域での個別歯科医療機関委託で実施。</td></tr><tr><td colspan="4">・4月に対象者9,062名へ個別に案内通知。</td></tr><tr><td colspan="4">・各種保健事業でのPR。</td></tr><tr><td colspan="4">・広報あかるいまちの「健診案内」(毎月)や啓発記事(6月・11月・2月)を掲載。</td></tr><tr><td colspan="4">・ホームページでのPR。</td></tr><tr><td colspan="4">・オーストラリアでのPR(6月)。</td></tr><tr><td colspan="4">・申込者がすべて受診に結びつくように、受診票を送付する際に同封するチラシはナッジ理論を活用して作成した。</td></tr><tr><td>決算額(千円)</td><td>R3 2,274</td><td>R4 2,672</td><td>R5 R6 R7</td></tr><tr><td>担当課</td><td colspan="3">健康増進課</td></tr><tr><td colspan="4">ナッジ理論を活用した申込者への案内チラシ</td></tr><tr><td colspan="4"></td></tr></table>	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》				・高知市近隣の市町村でも受診できるよう県内統一広域での個別歯科医療機関委託で実施。				・4月に対象者9,062名へ個別に案内通知。				・各種保健事業でのPR。				・広報あかるいまちの「健診案内」(毎月)や啓発記事(6月・11月・2月)を掲載。				・ホームページでのPR。				・オーストラリアでのPR(6月)。				・申込者がすべて受診に結びつくように、受診票を送付する際に同封するチラシはナッジ理論を活用して作成した。				決算額(千円)	R3 2,274	R4 2,672	R5 R6 R7	担当課	健康増進課			ナッジ理論を活用した申込者への案内チラシ								<table><tr><td>自課評価</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td></td><td></td><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満) ◆検証《達成状況、その要因》 ・申込者 783名に対して、519名の受診であった。 対象者への個別通知、広報あかるいまち、高知市ホームページへの掲載の他、新たに高知市公式LINEを活用した周知を行った。 マスク生活による口腔衛生の悪化や口の動きの制限など口腔内への悪影響の予防や取組の必要性をイベントなど機会を捉えた啓発活動、広報やホームページなどを活用した周知を行い目標を上回る受診者数となった。	自課評価	R3	R4	R5	R6	R7			A				◆対応《改善、今後どのようにするか》 歯周病は全身疾患に影響することから、令和5年度からは、対象年齢を60歳まで拡大し、40歳、50歳、60歳の節目年齢を対象として実施する。 また、申込みの利便性を図るため、対象者への個別案内ハガキへ申込用のQRコードを掲載し、WEB申込も開始する。また、ホームページ上からもWEB申込を可能とする。WEB環境のない方もいるため、従来の電話での申込も併用する。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・広報や受診勧奨、オンラインでの申し込み開始など取組内容が充実しており、受診者の利便性が向上していると思う。 【課題等】
No.	事業名																																																																																							
52	成人歯周病検診																																																																																							
◆事業(概要)																																																																																								
かかりつけ歯科医を持つ割合の少ない壮年期の節目年齢である40歳、50歳(年度末年齢)の市民を対象に、歯周病検診を委託歯科医療機関における個別検診により実施する。																																																																																								
◆男女共同参画の視点からの目的																																																																																								
市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるように、生活習慣病などの全身疾患に関連する歯周病を早期に発見し、歯科受診のきっかけづくりとして、成人歯周病検診を実施する。																																																																																								
◆活動指標(目標)																																																																																								
・受診者数 430人																																																																																								
(参考)関連する数値目標																																																																																								
健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.27年 女性21.77年																																																																																								
◆具体的取組《工夫や配慮した点等》																																																																																								
・高知市近隣の市町村でも受診できるよう県内統一広域での個別歯科医療機関委託で実施。																																																																																								
・4月に対象者9,062名へ個別に案内通知。																																																																																								
・各種保健事業でのPR。																																																																																								
・広報あかるいまちの「健診案内」(毎月)や啓発記事(6月・11月・2月)を掲載。																																																																																								
・ホームページでのPR。																																																																																								
・オーストラリアでのPR(6月)。																																																																																								
・申込者がすべて受診に結びつくように、受診票を送付する際に同封するチラシはナッジ理論を活用して作成した。																																																																																								
決算額(千円)	R3 2,274	R4 2,672	R5 R6 R7																																																																																					
担当課	健康増進課																																																																																							
ナッジ理論を活用した申込者への案内チラシ																																																																																								
																																																																																								
自課評価	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																			
		A																																																																																						

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)
基本目標	取組の方向性					
	5	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援				
	ア	生涯にわたる健康生活を充実させましょう				
	No.	事業名				
	53	こころの相談窓口				
◆事業(概要)						
市民の誰もがこころの健康について相談できる場として、新型コロナウイルス感染症や、その対策の影響を受けて仕事や生活に不安を感じている方などの相談にも対応する。						
◆男女共同参画の視点からの目的						
市民の誰もが生涯にわたって社会参加し続けられるように、相談対応を通してこころの健康を保つための支援を行う。						
◆活動指標(目標)						
精神保健福祉相談 延べ2,800件						
(参考)関連する数値目標						
健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.27年 女性21.77年						
◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		◆検証《達成状況、その要因》				
・精神保健福祉相談は、専用の相談電話(2回線)で主に受付し、来所を希望する方及び職員が訪問が必要と判断した時には来所や訪問での相談にも対応した。		・精神保健福祉相談(訪問・来所・電話)の延べ件数 5,962件。				
・パソコンやスマートフォンから簡単にストレス度や落ち込み度などの心の状態がチェックでき、相談窓口が表示されるシステム「こころの体温計」を、高知市ホームページからアクセスできるようにするとともに、名刺サイズのカードにQRコードを載せ配布することで、周知した。		・こころの体温計へのアクセス数 55,002回。				
・高知市公式LINEで相談窓口、こころの体温計へのアクセスを呼びかけた。		パソコンやスマートフォン、LINE等の活用により、相談窓口を効果的に周知できていると思われる。				
・県と連携して相談窓口の掲載されたウェブサイトやティッシュを窓口に設置し、相談窓口の周知を行った。						
決算額(千円)		R3	R4	R5	R6	R7
250		262				
担当課		健康増進課				
配布したカード						
◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント				
必要性		・事業がプランの数値目標に結びつくか。				
効率性		・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。				
有効性		・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。				
工夫・配慮		・男女共同参画の視点からの配慮があるか。				

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	5	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援	事業名	◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》 学校及び養護教諭との連携を図るために、養護教諭定例会にて毎年啓発活動を行なっている。適切な時期での性教育実施のため今後も継続して実施していく。		◆ 検証《達成状況、その要因》 学校で性教育を実施できるように、養護教諭定例会で思春期教室のサポートや性教育関係の物品貸出等について説明、啓発を実施。(毎年) 思春期教室(サポート授業) 保健師4回 助産師9回 性教育関係の物品貸出 小学校:8校、高等学校:1校、その他:6か所 延べ17回		◆ 推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】	
			No.	◆ 事業(概要) ・養護教諭の定例会での啓発を行う。 【思春期教室】 学校で性教育を実施できるように、対象者や授業の内容に合ったサポート、資料教材の提供、物品の貸出しを行う。 開催:学校からの依頼		評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)		◆ 課題等	
			54 思春期保健事業			自課評価 R3 R4 R5 R6 R7			
			◆ 活動指標(目標) ・命を大切にすることや、男女がそれぞれの体の特徴や違いを理解し尊重し合う心を育てるための取り組みを行う。 ・養護教諭定例会での啓発を行う。(年1回) ・学校等の依頼により、思春期教室の開催や物品等の貸出しを行う。		◆ 活動指標(目標) ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。				
			(参考)関連する数値目標		有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。				
			—		工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。				

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)			
5	基礎目標	事業名		◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・R4.4月に保健福祉センターに4か所目となる子育て世代包括支援センターを開設。土曜日開所により妊娠届出の利便性を図った。 ・パパママ教室(年18回開催)は、西部・東部・北部子育て世代包括支援センターにおいて、最大限の感染予防対策を行ったうえで予定通り開催。沐浴体験や妊婦体験を取り入れパートナーの育児参加を啓発した。 ・妊娠婦子育て相談はぐくみ(年24回開催)もパパママ教室と同様に予定通り開催。保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士、保育士などの専門職を配置し、様々な相談に対応できる体制にした。 ・こんにちは赤ちゃん事業として保健師、訪問員による乳児家庭全戸訪問に取り組んだ。		R3 R4 R5 R6 R7		◆対応《改善,今後どのようにするか》 パパママ教室・子育て相談はぐくみともに子育て世代包括支援センターで開催。今年度も感染対策を行った上で参加者の増加を図り、妊娠、出産、子育てにかかる相談支援や情報の提供に取り組む。子育て世代包括支援センターうち3か所は地域子育て支援センターに併設しており、地域において気軽に妊婦や子ども連れで訪れやすい雰囲気を形成、教室開催により周知を図る。身近な相談機関としてのきつかけづくりの役割を果たしている。 訪問できなかつた世帯に対しても、情報提供の実施をするとともに、乳児一般健康診査受診歴や予防接種履歴、母子保健事業の利用状況等を確認し、状況把握に努める。			
55		妊娠・出産期等の支援		◆事業(概要) ・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援の第一歩として、子育て世代包括支援センターに母子保健コーディネーターを配置し、母子健康手帳交付時の窓口面接、相談支援、医療機関との連絡調整を行うとともに必要な支援につなげる。 ・妊娠期に出産・産後・子育てに関する知識・技術を習得し、子育てがイメージできるよう妊婦の他にもパートナーや家族と一緒に参加できる「パパママ教室」を開催する。 ・妊婦や子育て中の保護者が一人で悩まず気軽に相談できる機会として「妊娠婦子育て相談はぐくみ」を開催する。 ・生後4ヵ月までの乳児のいる全ての子育て家庭を訪問し、家庭と地域社会をつなぐ最初の機会とすることにより、子育て家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図る。		R3 1,815		R4 1,798		R5 R6 R7	
◆事業(概要)		◆活動指標(目標)		◆男女共同参画の視点からの目的		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		妊娠期間からの関わりにより、出産・子育て期への切れ目ない支援につなげていくために、必要な情報提供や支援を行う。 教室開催により、出産・子育てにおいては父親や家族のサポートが重要であることの啓発をすするとともに、具体的な実技等を含めた学習ができるようにする。		・事業がプランの数値目標に結びつくか。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。		【特に良かった点等】			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組			
◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標)			
・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期間に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組		・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センター			

取組の方向性		あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援	
基本目標	5	生涯にわたる健康生活を充実させましょう	
Plan(計画)		Do(実施)	
◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		◆検証《達成状況、その要因》	
コロナ禍により令和2・3年には健診を中止した期間があったため、受診者も減少していた。令和4年度は感染予防策を最大限にとり、繰り越された対象者を期間内に呼出すため、枠を増やして開催。感染対策と医師を含めたスタッフの体制調整に苦慮した。日曜健診も各3回を継続維持し、受診率向上を図った。		1歳6か月児健診 対象者数2616人(681人増)(R3比較) 受診者数2401人(574人増) 受診率 91.8% 受診勧奨訪問実績 183件	
健康未受診の幼児には、子育て支援訪問員や保健師が自宅を訪問し受診勧奨を実施している。受診率の向上に貢献する手段として、継続して取り組んでいく。		3歳児健診 対象者数2513人(594人増) 受診者数2336人(501人増) 受診率 93.0% 受診勧奨訪問実績 202件	
※本来1歳6か月児健診は2歳の誕生日まで、3歳児健診は4歳の誕生日までが受診期限。それぞれ2歳6か月、4歳6か月まで延長して対応した。			
◆男女共同参画の視点からの目的		◆推進委員会の点検項目	
受診率向上及び父親の子育て参加の機会促進ため、各健診のうち一定数の日曜健診を実施する。		必 要 性	
◆活動指標(目標)		・事業がプランの数値目標に結びつくか。	
子どもの発育や発達に関する保護者の育児不安の軽減を図るとともに、幼児の疾患や精神運動発達面での問題を早期に発見し、治療や支援につなげる。		効 率 性	
1歳6か月児健診受診率 95% 3歳児健診受診率 95%		・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	
(参考)関連する数値目標		有 効 性	
低出生体重児出生率:9.4%以下		・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	
		工 夫 ・ 配 慮	
		・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	
Action(見直し)		◆推進委員会から点検コメント	
◆対応《改善、今後どのようにするか》		【特に良かった点等】 ・目標は達成できていないが、コロナ禍で活動制限がある中で、丁寧な受診勧奨や体制等を拡充してより多くの幼児が健診を受診できるように取り組んだことは良いことと思う。	
		【課題等】	

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)
基本目標	取組の方向性	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援				
	5	生涯にわたる健康生活を充実させましよう				
	ア	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援				
	No.	事業名		◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		
	57	相談事業	女性対象相談 2,083件 一般相談 1,951件(DV含む) 法律相談 90件 こころの相談 42件 ・男性対象相談 60件 ・LGBTsに関する相談(にじいろコール) 21件 合計2,164件 相談室の案内を情報誌やテレビ、ラジオ、SNSを用いて積極的に広報したことが相談につながっていると考える。 (専門相談について) 法律相談、こころの相談、男性対象相談は弁護士、心理カウンセラーが対応。予約制。 法律相談各回4名×2回(1ヶ月最大8名) こころの相談各回2名×2回(1ヶ月最大4名) 男性相談各回2名×3回(1ヶ月最大6名) にじいろコールは専門相談員が対応。電話相談のみ受けている。月1回第4土曜午後3時間。			
◆事業(概要)				◆検証《達成状況、その要因》		◆対応《改善、今後どのようにするか》 以下のとおり相談事業を見直し、より相談しやすい体制とする。 男性相談を 月3回から4回に拡充する。 LGBTsに関する相談をフリーダイヤルに改善する。 積極的な広報を継続する。
・女性対象：一般相談(開館日)				R3		
・専門相談(法律相談／月2回、こころの相談／月2回)				R4		
令和3年度からこころの相談を月2回に拡充				R5		
・男性対象：男性のための悩み相談 月3回				R6		
◆男女共同参画の視点からの目的				R7		◆評価基準 A：目標達成(100%以上) B：概ね達成(80～100%未満) C：少し下回った(60～80%未満) D：大きく下回った(60%未満)
人生100年時代を見据え、心身の健康を保ち、男女が生涯にわたり参画し続けられるようにする。				R3		
◆活動指標(目標)				R4		
・一般相談 2,000件以上				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		
				R3		

数值報告

数値報告

施策	番号	担当課	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	1	人権同和・男女共同参画課	高知市男女共同参画に関する市民意識調査(5年毎に実施) ①抽出方法 ②抽出日 ③調査期間 ④有効回収数 ⑤有効回収率	-	①住民基本台帳マスターファイルより無作為抽出3,000人 ②令和元年10月2日 ③令和元年10月10日～11月11日 ④1,023人(うち女性605人) ⑤34.1%	-	-	-
	2	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「社会通念・慣習・しきたり」などで男女の地位が平等だと思ふ人の割合」	-	15.7%(市)	-	-	-
	3	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「男は仕事、女は家庭などの性別による固定的な役割分担意識に同意しない割合」	-	70.3%(市)	-	-	-
	4	人権同和・男女共同参画課	①市審議会等の女性委員比率 ②女性委員0の市審議会等の比率	①31.0% (1,408人のうち女性437人) ②17.1% (129会のうち22会が女性0人)	①30.1% (1,502人のうち女性452人) ②17.3% (138会のうち24会が女性0人)	①32.3% (1,417人のうち女性457人) ②11.0% (118会のうち13会が女性0人)	①31.1% (1,317人のうち女性432人) ②13.0% (115会のうち15会)	①30.7% (1,431人のうち女性439人) ②10.8% (120会のうち13会)
	5	人事課	高知市管理・監督職(係長級以上)女性比率	31.6% (607人うち女性192人)	33.1% (612人うち女性203人)	33.3% (620人うち女性207人)	36.0% (630人うち女性227人)	37.5% (634人うち女性238人)
	6	学校教育課	市立学校(小・中・特別支援学校)における ①女性教職員人数(比率) ②女性管理職人数(比率)	①983人(65.4%) ②37人(29.4%)	①932人(67.6%) ②41人(32.5%)	①897人(66.2%) ②40人(32.3%)	①920人(66.4%) ②43人(33.3%)	①896人(64.9%) ②41人(32.0%)
	7	人権同和・男女共同参画課	【男女共同参画研修】(階層別) ①対象階層 ②参加人数	「男女共同参画の観点からのワーク・ライフ・バランス」 ①主査補・技査補級 ②231名	「男女共同参画の観点からのワーク・ライフ・バランス」 ①主事・技師級 ②306名	「ちゃんと知りたい!LGBTs」 ①係長級 ②190名	「SOGI職員研修」 ①全職員 ②530名	「男女共同参画の観点からの防災～災害対応全般の質/効果を上げるために～」 ①オンライン研修:係長級職員 オンデマンド研修:全職員 ②オンライン研修:43人 オンデマンド研修:再生回数167回
	8	人事課(人材育成)	【男女共同参画研修】 対象:新任課長補佐研修 参加人数	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 平成31年1月16日 2年目課長補佐級職員等42名	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和2年1月22日 2年目課長補佐級職員等54人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和3年1月6日 2年目課長補佐級職員等40人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和3年11月5日 2年目課長補佐級職員等36人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和4年11月8日 2年目課長補佐級職員等30人

数値報告

施策	番号	担当課	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	9	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「DVを経験したことのある人の割合」	-	25.2%(市)	-	-	-
	10	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合」	-	65.1%(市)	-	-	-
	11	人権同和・男女共同参画課	ソーシャル 女性対象一般相談のうち「暴力」に関する相談件数	124件	136件	97件	74件	74件
	12	子ども家庭支援センター	子ども家庭支援センターにおける児童相談のうち「児童虐待相談」件数	221件	230件(修正)	217件	180件	191件
	13	少年補導センター	街頭補導状況【市少年補導センター】 ①在学少年(小・中・高校・その他の学校) ②非在学少年(有職・無職)	①53人(うち女子14人) ②9人(うち女子0人)	①90人(うち女子8人) ②3人(うち女子0人)	①80人(うち女子23人) ②15人(うち女子1人)	①168人(うち女子28人) ②17人(うち女子4人)	①94人(うち女子23人) ②8人(うち女子1人)
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	14	少年補導センター	相談受理状況【市少年補導センター】 ※夜間電話相談【7時～119【シガ-119】含む(※平成30年度で事業終了)】 ①在学少年(小・中・高校・その他の学校) ②非在学少年(有職・無職)	①172人(うち女子66人) ②9人(うち女子4人)	①167人(うち女子46人) ②1人(うち女子0人)	①132人(うち女子54人) ②2人(うち女子0人)	①97人(うち女子53人) ②2人(うち女子1人)	①97人(うち女子46人) ②1人(うち女子1人)
	15	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「性別による不当な扱いと感じる項目と割合」	-	賃金格差 11.6% 昇給・昇格 11.3% 自由に休暇とりにくい 9.2% 育児・介護休暇とりにくい 7.1%	-	-	-
	16	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「家事を全くしない男性の割合」	-	15.2%	-	-	-
	17	人事課	①男性の育児休暇 取得者数・取得率(市職員) ②配偶者出産休暇 取得者数・取得率(市職員)	① 6人 8.3% ②57人 79.2%	①7人 9.9% ②52人 73.2%	①9人 12.5% ②57人 79.2%	①10人 17.9% ②47人 83.9%	①22人 32.4% ②61人 89.7%
	18	人事課	市新規採用職員(事務職)女性比率 <実施年度別>	73% (60人のうち女性44人)	57.4% (54人のうち女性31人)	51.2% (41人のうち21人)	78.1% (64人のうち50人)	57.1% (49人のうち28人)

数値報告

施策	番号	担当課	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しよう	19	人事課(人材育成)	【市女性職員の人材育成・能力開発研修】参加人数 ①自治大学(25日間) ②市町村アカデミー(a 4日間・b 8日間) ③国際文化アカデミー-(5日間) ④その他の研修	①1人 ②1人 ③1人 ④1人	①1人 ②1人 ③1人 ④1人	①1人 ②1人 ③0人 ④0人	①0人 ②0人 ③1人 ④0人	①0人 ②1人 ③1人 ④0人
	20	学校教育課	高等学校進学率 ①全体 ②男 ③女	①98.6% ②98.2% ③99.1%	①98.7% ②97.6% ③99.5%	①98.6% ②98.4% ③98.8%	①98.3% ②98.0%③98.8% 未進学(就職含む) 男 21名 女 11名	①98.5% ②98.2%③98.8%
	21	子育て給付課	ひとり親家庭自立支援相談件数(延件数) <医療・健康、就労、児童、経済的支援等> ①母子家庭相談数 ②父子家庭相談数	①母子家庭 1,412件 ②父子家庭 22件	①母子家庭 1,019件 ②父子家庭 30件	①母子家庭 1,084件 ②父子家庭 38件	①母子家庭 825件 ②父子家庭 28件	①母子家庭 1,729件 ②父子家庭 38件
	22	子育て給付課	母子家庭等就業・自立支援センター事業 【高知県と共同実施】 (就業相談・就業情報提供等支援サービス提供) ①相談件数 ②就業者数	①543件 ②26人(高知市のみ)	①632件 ②31人(高知市のみ)	①647件 ②21人(高知市のみ)	①691件 ②3人(高知市のみ)	①1,835件 ②20人(高知市のみ)
	23	産業政策課	就職につなげた市主催セミナー修了者 ①若者就職応援セミナー	①11人(うち女性4人)	①12人(うち女性8人)	①3人(うち女性2名)	①5人(うち女性2人)	①4人(うち女性1人)
24	母子保健課		母子訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 ②産婦 ③新生児 ④未熟児<21年度から⑧の数に再掲> ⑤乳児 ⑥幼児 ⑦その他	訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 (103/203) ②産婦 (246/582) ③新生児 (55/77) ④未熟児 (23/45) ⑤乳児 (362/899) ⑥幼児 (804/1,094) ⑦その他 (21/24) ①～⑦の合計 2,924人(延)	訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 (90/179) ②産婦 (274/466) ③新生児 (53/62) ④未熟児 (30/51) ⑤乳児 (407/938) ⑥幼児 (846/1,175) ⑦その他 (12/29) ①～⑦の合計 2,900人(延)	訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 (74/130) ②産婦 (224/441) ③新生児 (47/83) ④未熟児 (10/35) ⑤乳児 (350/776) ⑥幼児 (744/871) ⑦その他 (20/39) ①～⑦の合計 2,375人(延)	訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 (56/96) ②産婦 (231/400) ③新生児 (57/71) ④未熟児 (13/28) ⑤乳児 (283/485) ⑥幼児 (504/626) ⑦その他 (11/15) ①～⑦の合計 1,721人(延)	訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 (62/124) ②産婦 (210/364) ③新生児 (43/58) ④未熟児 (7/7) ⑤乳児 (268/463) ⑥幼児 (604/686) ⑦その他 (3/3) ①～⑦の合計 1,705人(延)
			⑧赤ちゃん誕生おめでとう訪問<全戸訪問> (実人数/対象者数=訪問率)	⑧赤ちゃん(訪問率) (2,361/2,436=96.9%)	⑧赤ちゃん(訪問率) (2,230/2,289=97.4%)	⑧赤ちゃん(訪問率) (2,101/2,205=95.3%)	⑧赤ちゃん(訪問率) (2,118/2,223=95.2%)	⑧赤ちゃん(訪問率) (1,934/2,037=94.9%)

数値報告

施策	番号	担当課	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しよう	25	母子保健課	ババママ教室 (初めての妊娠の方とパートナー対象) ①美参加組数 ②延参加組数	①65組 ②183組	元年度から内容・回数等変更 ・ババママ教室 妊婦 84人、家族 73人 ・ババママひろば 妊婦 73人、家族 69人 合計参加総数 146組、288人	・ババママ教室 妊婦 84人、家族 84人 ・ババママひろば 妊婦 106人、家族 97人 合計参加総数 190組、371人	・ババママ教室 妊婦 71人、家族 68人 合計参加総数 71組、139人	・ババママ教室 妊婦 134人、家族 130人 合計参加総数 134組、264人
	26	子ども育成課	ファミリーサポートセンター ①依頼会員登録者数 ②援助会員登録者数 ③両方会員登録者数 ④活動件数	①794人(男性33人、女性761人) ②430人(男性22人、女性408人) ③61人(男性1人、女性60人) ④6,456件	①784人(男性34人、女性750人) ②441人(男性26人、女性415人) ③62人(男性1人、女性61人) ④5,521件	①741人(男性34人、女性707人) ②447人(男性29人、女性418人) ③55人(男性0人、女性55人) ④4,278件	①727人(男性36人、女性691人) ②443人(男性28人、女性415人) ③51人(男性1人、女性50人) ④5,743件	①720人(男性42人、女性678人) ②456人(男性29人、女性427人) ③50人(男性1人、女性49人) ④4,429件
	27	子ども育成課	病児・病後児童保育実施施設・利用人数 ①細木病院 <定員:6人> ②三愛病院 <定員:6人> ③うららか保育園<定員:3人> ④もみのき病院 (合計 利用人数)	① 419人 ② 590人 ③ 272人 ④ 440人 (計1,721人)	① 492人 ② 614人 ③ 235人 ④ 451人 (計1,792人)	① 153人 ② 131人 ③ 125人 ④ 128人 (計537人)	① 281人 ② 170人 ③ 182人 ④ 196人 (計829人)	① 356人 ② 72人 ③ 224人 ④ 166人 (計818人)
	28	子ども育成課	子育て相談件数(延件数) ③地域子育て支援センター a「あい」 b「ほけっとランド」 c「くすくすひろっぼ」 d「はるの・わくわくほけっと」	③a 263件 b 93件 c 89件 d 186件	③a 361件 b 66件 c 130件 d 148件	③a 203件 b 119件 c 103件 d 164件	③a 213件 b 118件 c 192件 d 143件	③a 324件 b 137件 c 153件 d 150件
	29	子ども育成課	放課後児童クラブ ①クラブ数 ②児童数 ③指導員数(男女比)	①88 ②3,457人 ③141人(うち女性140人)	①92 ②3,507人 ③154人(うち女性153人)	①89 ②3,355人 ③152人(うち女性151人)	①88 ②3,202人 ③151人(うち女性150人)	①84 ②3,395人 ③150人(うち女性149人)
	30	保育幼稚園課	保育所入所児童数/就学前児童数(入所率) (へき地保育所は除く)	8,788人/15,627人(56.2%)	8,657人/15,216人(56.9%)	8,513人/14,653人(58.1%)	8,238人/14,043人(58.7%)	7,888人/13,463人(58.6%)

数値報告

施策	番号	担当課	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
3 家庭や 働く場 においてジェ ンダー平等を 実現しましょ う	31	保育幼稚園課	市保育所待機児童数 ①4月1日時点 ②1月1日時点 児童の年齢	①43人 0歳 8人 1・2歳 33人 3歳以上 2人 ②203人 0歳 156人 1・2歳 44人 3歳以上 3人	① 34人 0歳 5人 1・2歳 28人 3歳以上 1人 ②168人 0歳 116人 1・2歳 52人 3歳以上 0人	①26人 0歳 0人 1・2歳 24人 3歳以上 2人 ②109人 0歳 89人 1・2歳 18人 3歳以上 2人	①11人 0歳 0人 1・2歳 11人 3歳以上 0人 ②79人 0歳 0人 1・2歳 70人 3歳以上 8人 1人	①3人 0歳 0人 1・2歳 3人 3歳以上 0人 ②102人 0歳 94人 1・2歳 8人 3歳以上 0人
	32	保育幼稚園課	延長保育実施保育所数/認可保育所全数 利用人数	①民営 40園/全61園 ②市営 16園/全26園 ①1,541人+②172人=1,713人	①民営 40園/全61園 ②市営 13園/全26園 ①1,481人+②163人=1,644人	①民営 40園/全61園 ②市営 13園/全26園 ①1,316人+②147人=1,463人	①民営 40園/全61園 ②市営 13園/全26園 ①1,316人+②117人=1,433人	①民営 40園/全61園 ②市営 13園/全26園 ①1,156人+②108人=1,264人
	33	保育幼稚園課	一時保育実施保育所数 利用人数	①民営 7園 ②市営 2園 ①+②=11,058人	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=9,251人	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=5,361人	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=4,783人	①民営 4園 ②市営 2園 ①+②=3,427人
	34	保育幼稚園課	低月齢保育児受入れ実施保育所数 受入れ人数(待機人数) ①4月1日時点 ②1月1日時点	84園 ①509人(8人) ②832人(156人)	84園 ①487人(5人) ②832人(116人)	84園 ①467人(0人) ②818人(89人)	84園 ①377人(0人) ②776人(70人)	84園 ①411人(0人) ②818人(94人)
4 地域 で、防災で 男女共同 参画をす めましょ う	35	保育幼稚園課	子育て相談件数(延件数) ①<保育園>	①2,613件	①2,926件	①2,565件	①2,285件	①2,368件
	36	子ども家庭支援 センター	子育て相談件数(延件数) ②子ども家庭支援センター(実数/延件数)	1,015件(延件数)	1,057件(延件数)	1,162件(延件数)	1,148件(延件数)	1,176件(延件数)
	37	スポーツ振興課	スポーツ推進指導員数(うち女性数)	387人(うち女性134人)	380人(うち女性136人)	363人(うち女性129人)	357人(うち女性130人)	341人(うち女性126人)
	38	人権同和・男女共 同参画課	地区人権啓発推進委員会の女性委員比率	36.5% (1,155人のうち女性422人)	36.3% (1,141人のうち女性363人)	37.8% (993人のうち女性375人)	37.7% (976人のうち女性368人)	38.8% (962人のうち女性373人)
	39	くらし・交通安全 課	交通安全指導員協議会人数(うち女性数)	191人(うち女性57人)	196人(うち女性58人)	184人(うち女性57人)	169人(うち女性55人)	175人(うち女性58人)
	40	地域防災推進課	自主防災組織数(組織率)	807組織(95.1%)	816組織(96.0%)	824組織(96.0%)	832組織(96.8%)	833組織(96.8%)

数値報告

施策	番号	担当課	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
5 生涯にわたる健康生活を充実させよう	41	健康増進課	がん検診受診率(検診対象者に対する受診者割合) 【市健康増進課】 ①子宮頸がん ②乳がん	①子宮頸がん 15.4% ②乳がん 19.1%	①子宮頸がん 15.1% ②乳がん 18.8%	①子宮頸がん 14.2% ②乳がん 17.4%	①子宮頸がん 14.2% ②乳がん 17.3%	①子宮頸がん 16.1% ②乳がん 19.0%
	42	健康増進課	女性健康診査受診者数 対象:20～39歳 内容:一般検診・歯科検診・子宮頸がん検診	209人	219人	179人	145人	167人
	43	【高知県】 (母子保健課)	中絶件数(うち10代)【高知県】	887件(81件)	812件(70件)	756件(70件)	694件(53件)	616件(65件)
	44	地域保健課	HIV検査件数 相談件数<検査時の相談は除く・夜間含> 【市地域保健課】	検査 358件 相談 92件	検査 368件 相談 47件	検査 201件 相談 22件	検査 258件 相談 12件	検査 280件 相談 40件

こうち男女共同参画センター (ソーレ) 事業報告

令和4年度 事業実施報告（こうち男女共同参画センター「ソーレ」）

I 情報収集及び提供に関する業務

1 図書・情報資料収集・提供事業

(1) 図書・DVDの購入・整理

蔵書数		図書利用登録者数	
本	10,134冊	新規利用登録者数	99人
ビデオ・DVD	1,018本		
計	11,152冊・本	〃 累計	8,198人

(2) 図書団体貸出

市町村図書館や学校、団体等に100冊まで貸し出し、図書情報の周知を図った。

貸出先	市町村14件、大学4件
貸出冊数	536冊



図書・情報資料室

(3) 新聞クリッピング

男女共同参画・人権に関連する新聞記事を館内に掲示した。

2 図書・情報資料室利用促進事業

(1) テーマ別図書展示

定期的にテーマを決めて関連図書等を展示し、図書室の利用促進を図った。

4月	大学生による図書紹介POP	10月	DVを考える
5月	6月講演会に向けて図書紹介	11月	コミック特集
6月	男女共同参画期間の関連本	12月	新着図書からみた現在
7月	女の子が主人公の昔話絵本等	1月	ソーレまつり関連図書
8月	ジェンダー関連	2月	講座関連図書 子どもの性 女性の健康
9月	新着図書の紹介	3月	新着図書の紹介

(2) 図書のPOP作成

県内大学生にソーレの図書紹介文を作成してもらい、図書のPOPとして展示やソーレSNSへの掲載を行い、幅広い層へ図書の利用促進を図った。

（高知リハビリテーション専門職大学、高知大学の学生 26件）



POPによる図書の紹介

II 調査研究に関する業務

男女共同参画に関する統計データ収集・提供事業

(1) 統計データの収集・分析

統計データの収集・分析を行い、ホームページ内で公開した。（年間アクセス 1, 197件）

(2) ウェブ調査の実施

女性を取り巻く課題に関する実態調査（ウェブ調査4回）を行い、結果を情報紙やホームページで周知した。

ウェブ調査のテーマ：第1回男性の育児休業 第2回女性の政治参画 第3回性教育 第4回防災への女性参画

Ⅲ 県民の理解を深めるための広報及び啓発に関する業務

1 広報・啓発事業

(1) 情報紙の発行

情報紙「ソーレ・スコープ vol.101～104」の発行(7・10・1・4月に各7,000部発行)



情報紙ソーレ・スコープ

(2) ホームページによる情報発信

実施事業の紹介・報告、センターの利用案内、男女共同参画に関する情報、財団の経営状況等をホームページを通じて広く県民に発信した。
また、よりわかりやすい情報発信のためホームページをリニューアルした。

(3) メールマガジンの発行(ソーレの事業や取組を周知)

メールマガジン「FROM ソーレ」の配信(毎月1日、計12回 ※令和4年度末の登録数 427件)

(4) SNSによる情報発信

SNS(Facebook、Twitter、Instagram)を活用した広報・啓発を行った。

(5) 啓発誌発行・配布

男女共同参画及び女性問題に関する啓発誌を発行するとともに、講座開催や企画展示の機会に合わせ、県民に配布し、理解促進につなげた。



ソーレ啓発誌

(6) 啓発パネル作成・貸出し・企画展示

作成したパネル等を館内の企画や地域のイベントで展示するとともに、他機関に貸し出すことで男女共同参画及び女性問題の啓発を図った。

啓発パネルの貸出	市町村等 4件8パネル
啓発パネル展等 企画展示	館内企画展示9件 男女共同参画推進月間(6月)、防災週間(9月)、女性に対する暴力をなくす運動期間(11月)ソーレまつり(1月)ほか 地域イベント展示1件 人権啓発フェスティバル(高知市 12月)



啓発タペストリーの
作成、展示

(7) その他の広報・啓発

人権啓発フェスティバル(高知市内)に出展し、啓発パネルの展示やミニリーフレット入りのポケットティッシュ等を配布し、来場者にソーレの利用促進と啓発を図った。

(8) 講演会概要掲載

男女共同参画推進月間講演会、DV防止啓発講演会等の概要を情報紙やホームページに掲載した。

2 出前講座事業

男女共同参画、ハラスメント、DV・デートDV防止等について学ぶ機会を提供するため、講師を市町村や地域、団体、企業等に派遣する講座等を行った。

実施回数及び参加者数 34講座 2,797名 うち男性 1,246名

(1) 出前講座(サポーター講師活用) ※サポーター講師はソーレに登録している県内講師(令和4年度末23名)

実施回数 26回 参加者数 1,680名

	開催日	内 容	派遣先	参加者数 ()内は男性
1	4月4日	ハラスメント防止	学校法人太平洋学園 太平洋学園 高等学校	51名 (26)
2	5月10日	デートDV	高知県立岡豊高等学校	321名 (152)
3	5月23日	災害と人権	安芸・香美地域人権啓発活動ネット ワーク協議会	26名 (10)
4	6月4日	コミュニケーション	公益財団法人高知勤労者福祉サービス センター なんこくファミリーサポートセン ター	10名 (0)
5	7月13日	性別役割・ジェンダー	室戸市役所	19名 (2)
6	7月27日	男女共同参画	高知市(男女共同参画推進本部)	12名 (3)
7	8月6日	子育て応援	株式会社四国銀行	19名 (5)
8	9月20日 9月21日	ハラスメント防止	佐川町役場	172名 (74)
9	9月27日	コミュニケーション	高知県警察本部	68名 (51)
10	9月27日 10月6日	ハラスメント防止	社会福祉法人 須崎市社会福祉協 議会	35名 (23)
11	10月1日	男性の育児参加	土佐市立新居小学校PTA	20名 (7)
12	10月11日	LGBTs(性の多様性)	南国市役所	50名 (18)
13	11月7日	性別役割・ジェンダー	高知市公営事業課	72名 (27)
14	11月7日 11月14日	ジェンダー	高知市子ども育成課	230名 (3)
15	11月10日	メディアリテラシー	高知県立佐川高等学校	118名 (58)
16	11月17日	メディアリテラシー	高知市立初月小学校	13名 (3)
17	12月1日	メディアリテラシー	高知県立高岡高等学校	39名 (27)
18	12月11日	メディアリテラシー	四万十市立大用小中学校	18名 (4)
19	1月11日	メディアリテラシー	高知市立大津小学校 大津支部人 権教育研究協議会	50名 (18)
20	1月14日	ジェンダー平等	黒潮町婦人連合会	46名 (5)
21	2月7日	人権	土佐清水市役所	50名 (30)
22	2月20日	デートDV	高知県立高知工業高等学校	223名 (183)
23	2月22日	人権	室戸市立吉良川市民館	18名 (4)
				1,680名 (733)

(2) 出前講座(県内・県外講師活用)

実施回数 8回 参加者数 716名

	開催日	内容	派遣先	参加者数 ()内は男性
1	6月24日	ジェンダー	南国市立十市小学校	91名 (36)
2	9月13日	デートDV	高知大学	45名 (27)
3	11月25日	アンコンシャスバイアス	南国市立香長中学校	194名 (92)
4	11月25日	LGBTs(性の多様性)	津野町立葉山中学校	110名 (55)
5	2月18日	ジェンダー	新日本婦人の会佐川支部	38名 (2)
6	3月8日	LGBTs(性の多様性)	芸西村立芸西中学校	66名 (40)
7	3月17日	LGBTs(性の多様性)	佐川町役場(2回実施)	172名 (67)
				716名 (319)

(3) 出前講座(ソーレ職員)

実施回数 1回 参加者数 282名

	開催日	内容	派遣先	参加者数 ()内は男性
1	2月7日	デートDV	高知学芸高等学校	282名 (133)
				282名 (133)

(4) ウェルカムセミナー(施設見学他)

実施回数 3回 参加者数 119名

	開催日	内容	来館者(団体等)	参加者数 ()内は男性
1	9月22日	施設見学	高知市立旭東小学校	59名 (34)
2	11月25日	施設見学	高知市立旭東小学校	7名 (1)
3	11月30日	施設見学	高知市立旭小学校	53名 (26)
				119名 (61)

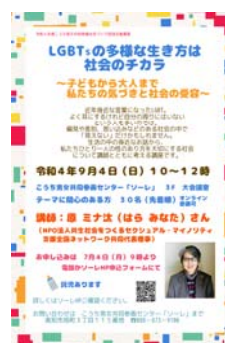
IV 講演会、講習会、研修会等の開催に関する業務

1 男女共同参画推進事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 ()内は男性
男女共同参画推進月間講演会 【オンライン・オンデマンド】 《共催団体》 高知県経営者協会他	6月18日	男女共同参画についての理解と意識の浸透を図るため、6月の男女共同参画推進月間に講演会を実施した。 演題「ポストコロナ・サバイバル あなたはどう生き、どう働く？」 <講師> 大沢真知子(日本女子大学名誉教授)	会場 74名 (21) オンライン 40名 (8) オンデマンド 634名 (19)
男女共同参画講座 【オンライン】	12月10日	年齢や国籍、障害の有無や性的指向・性自認に関することも含めて、幅広く多様な人々がそれぞれの生き方を認め合い、実現し、それぞれの特性を活かして元気に暮らすことができる男女共同参画社会の実現を目的とする講座を開催した。 演題「働き方と家族の未来図 データから読み解く仕事・家庭・ジェンダー」 <講師> 筒井淳也(立命館大学産業社会学部教授)	会場 31名 (5) オンライン 13名 (2)
男女共同参画講座「ジェンダーカフェ」	9月4日 10月2日 11月5日 12月4日 2月12日	女性を取り巻く様々な問題に対して、参加者がテーマごとに意見交換できるように、カフェ形式で話し合う講座を開催した。 ①心にささる小さなトゲ マイクロアグレッションについて考えてみよう ②ルッキズムを考えるー外見にもとづく差別や偏見とは何かー ③女性議員はなぜ増えないのか？ーハラスメントの実態から考えるー ④近代高知の女性ー資料に見るそのすがたー ⑤誰もが働きやすい社会とはー「仕事×ジェンダー」の視点から考えるー <講師> ①原ミナ汰(NPO法人共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク共同代表理事) ②小島優子(高知大学人文社会科学部門准教授) ③濱田真里(一般社団法人ジェンダー総合研究所共同代表) ④筒井秀一(高知市立自由民権記念館館長) 濱田実佑(高知市立自由民権記念館学芸員) ⑤安藤真由美(一般社団法人ジェンダー総合研究所共同代表)	75名 (11)
SOGIに関する講座 【オンライン】	9月4日	多様性への理解と、性自認・性指向の尊重に資する内容の講座を開催した。 「LGBTsの多様な生き方は社会のチカラ」 ～子どもから大人まで私たちの気づきと社会の受容～ <講師> 原ミナ汰(NPO法人共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク共同代表理事)	会場 16名 (3) オンライン 13名 (0)



男女共同参画推進月間講演会



SOGIに関する講座

2 DV防止啓発事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 ()内は男性
DV防止啓発講演会 【オンライン】 ＜共催団体＞ 高知地方方法務局 他 ＜協力機関＞ 四万十市教育委員会	11月13日	11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、DV防止を広く県民に啓発するため講演会を実施した。 演題「外では見せない 内の顔 ～家庭内のモラル・ハラスメント～」 ＜講師＞ 高山 直子(カウンセラー) (同時開催)11/8～25 啓発パネル展示、パープルリボンツリー等の設置(市町村役場、大学等)	会場 97名 (22) オンライン 80名 (4)



DV防止啓発講演会

パープルリボンツリーの設置(写真:県立大学)

3 エンパワメント事業

講座名	開催日	内 容	参加者数
エンパワメント講座 【オンデマンド】	3月14日～ 27日	男女共同参画の視点を持ちながら、女性がここに持つ能力を十分発揮し、課題に対応できる能力を身につけることを目的とする講座を開催した。 演題「ジェンダーギャップの現在地と、歩んでいくべき未来」 ＜講師＞ 辻愛沙子(株式会社arca代表取締役/クリエイティブディレクター)	オンデマンド 92名

4 ワーク・ライフ・バランス事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 ()内は男性
大学生向けキャリア形成支援 ※高知県立大学との連携	7月6日 11月9日	これから就職する学生を対象に、自らはどのような人生を求めているか、仕事も含めて考える講座を開催した。(2回) 「女性の職業生活を通じた自己実現」 ＜講師＞ 長澤 紀美子(高知県立大学教授) ＜ロールモデル＞ 島田希保(善楽寺住職) 松田さやか(株式会社高知新聞社編集局報道部)	197名 (27)
大学生向けキャリア形成支援 ※高知大学との連携	9月15日	これから就職する学生を対象に、自らはどのような人生を求めているか、仕事も含めて考える講座を開催した。 ＜講師＞ 児美川孝一郎(法政大学キャリアデザイン学部教授) ＜ロールモデル＞ 松田さやか(株式会社高知新聞社編集局報道部) 濱田翔太(株式会社技研製作所) 中野曜子(タイ語通訳、シントウ農家)	38名 (22)

男性家事・介護基礎講座	9月11日 11月27日	男性の家事・介護への参加を促進し、性別役割分担についての気づきやワークライフバランスの充実について考える講座として座学や講話、介護食づくりを実施した。 <講師> ①溝渕由記(高知県介護福祉士会副会長)／荻谷貢(認知症の人と家族の会高知県支部世話人) ②和田房子(居宅療養管理指導事業所ひさ管理栄養士、在宅訪問管理栄養士、病態栄養専門管理栄養士)	① 7名 (7) オンデマンド 36名 ② 8名 (8)
-------------	-----------------	--	---

男性家事・介護基礎講座



5 リプロダクティブ・ヘルス&ライツ (性と生殖に関する健康と権利)

講座名	開催日	内 容	参加者数
女性の健康を考える講座	3月12日	女性が自分自身の身体や心の状態を安全に保ち、自分で選択して健康に生きることを考えることを目的とした講座を開催した。 「不安から身体や心を守りたい『正しく知れば大丈夫』」 <講師> 毛山薫(医療法人薫風会けやまクリニック)	25名

女性の健康を考える講座



6 他機関連携・共催事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数
「女性の人権」講演会 【オンライン・オンデマンド】 《共催団体》 NPO法人こうち被害者支援センター	2月26日	こうち被害者支援センターと連携し、女性の人権をテーマに犯罪被害者の支援につながる講演会を開催した。 犯罪被害者支援講演会 「子どもを性暴力の被害・加害から守るために ～私たち大人がすべきこと～」 <講師> 小笠原和美(群馬県警察本部長)	会場 33名 (5) オンライン 64名 (4) オンデマンド 230名 (1)

V 人材育成に関する業務

1 人材育成事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 ()内は男性
女性リーダー応援塾	10月2日 10月23日 11月20日	職場等で活用できるスキルやリーダーシップを発揮するために必要なことを学び、自分のスキルを活用しその場の運営にあたる力を養うことを目的に連続講座を開催した。 ① マインドアップセミナー「明日の私にご期待ください。」(講演) ②③スキルアップセミナー「女性×はたらく」(講座) <講師> ① 堀井利江 (オフィスホリイ代表) ②③小安美和 (株式会社Will Lab 代表取締役)	①会場 18名 - オンライン 34名 ②③会場 30名 -
女性防災プロジェクト	6月25日 7月9日 7月30日 8月27日 9月10日 11月26日	男性中心で構成されることが多い地域の防災組織等で、女性が積極的に参画し、地域での活躍につなげるための講座を開催した。(6回) <講師> 神原咲子(神戸市看護大学教授/高知県立大学看護学部特任教授) その他ゲスト講師	会場 107名 - オンライン 9名 -
女性防災プロジェクト 防災講演会	10月1日	防災講演会 <講師> 神原咲子(神戸市看護大学教授/高知県立大学看護学部特任教授)	40名 (12)
高知大学地域協働学部 「地域理解実習」	通年 (週1回)	高知大学地域協働学部の「地域理解実習」の実施場所としてソーレの施設や資料を提供し、大学と協働して男女共同参画の推進を図った。 実習 29回 <講師> 高知大学地域協働学部 講師 佐藤洋子	120名 (23)



2 就業・起業支援事業

職場での活用や仕事選びの幅を広げることにつながるスキルを身につける講座を開催した。

講座名	開催日	内 容	参加者数
就労支援パソコン講座 《共催団体》 ひとり親家庭支援センター	① 7月 9～10日 ② 7月23～24日	エクセル基礎講座 <講師> 横山桂子(サーティファイ認定インストラクター)	29名
就労支援講座	8月28日	「対話力」トレーニング <講師> 平野智佐 (Office C Career代表、キャリアコンサルタント)	14名



3 県民からの企画提案事業

男女共同参画を推進するための事業の企画運営について、県民(団体等)を対象に募集し、4企画を実施した。

委託先	開催日	講座等の名称	参加者数 ()内は男性
(1) 中上 曜子	9月25日	(講演) 海南姉妹諸君ニ告グ 「地方で女性が連帯できる場をつくるということ」	26名 (3)
(2) 株式会社VP Advisors 【高知市外】	1月17日	(講座) アンコンシャスバイアスについて知ろう	20名 (4)
	1月24日		3名 (1)
	1月30日		27名 (9)
(3) ここからね会	11月23日	ココロとカラダのつながる会(全3回講座) 妊娠力アップ&女性特有の不調改善のための 養生講座	13名 -
	1月29日	ストレス軽減 女性のためのラフターヨガ講座	4名 -
	2月26日	妊活とこころの関係を考えるライフデザイン講座	4名 -
(4) こうち減災女子部	12月4日	(講座) いざというときに備えたい ～親子で挑戦 バッククッキング～	17名 (1)
	1月19日	(講演会)「あなたは どうする? 避難生活で命と健康を守るために」	26名 (0)

4 ボランティア育成・活用事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 ()内は男性
ボランティア活用	年間	事業のサポートを行う県民ボランティアを募集・活用するとともに、活動を通じて男女共同参画への理解浸透を図った。 (活動内容) 講演会や講座の受付、イベントの手伝い、図書の選書や企画展示、新聞クリッピング	登録者数 18名 活動実績 延144名
学生ボランティア体験	8月 9日 8月19日 8月23日	夏休みを活用した事業のボランティア体験をとおして、高校生が男女共同参画について知る・学ぶ・考える機会を提供した。	37名 (7)



学生ボランティア体験



VI 女性問題の解決その他男女共同参画の推進に向けた相談に関する業務

1 相談事業

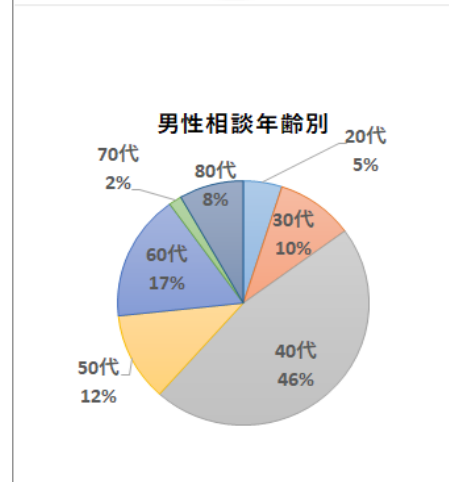
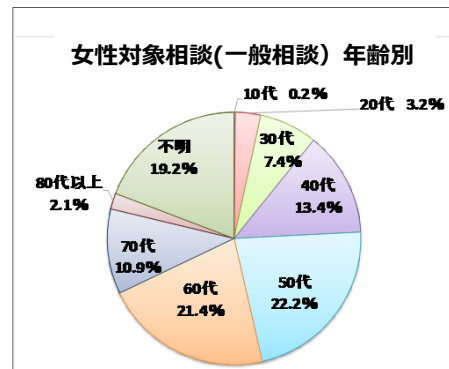
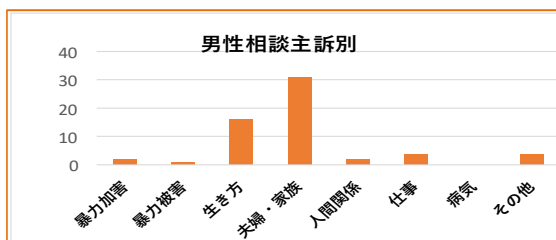
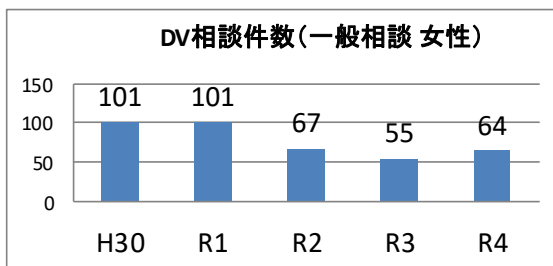
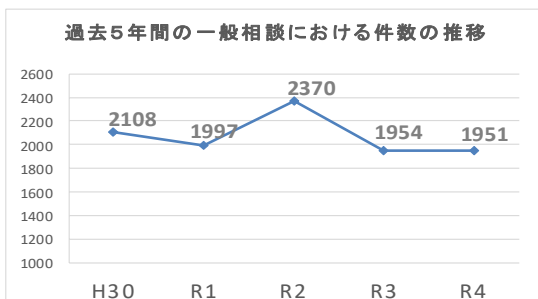
相談の種類別件数

相談の種類		件 数
女性対象相談	一般相談（休館日を除く毎日）	1,951 件
	性・身 体・健 康	450 件
	家 族・家 庭	526 件
	生 き 方	76 件
	福 祉	25 件
	仕 事	103 件
	暴 力	110 件
	暮 ら し	215 件
	金 銭	77 件
	そ の 他	369 件
	法律相談（月2回）	90 件
	こころの相談（月2回）	42 件
男性対象相談	男性のための悩み相談（月3回）	60 件
にじいろコール	LGBTsに関する相談（月1回）	21 件
合 計		2,164 件

○性・身体・健康(450件)と家族・家庭(526件)が一般相談の半数を占めた。

○性・身体・健康では「不安・イライラ」に関すること(142件)、家族・家庭では親族関係(111件)、夫との関係(106件)など の相談が多かった。

○その他は、男性からの相談や問合せなども含む



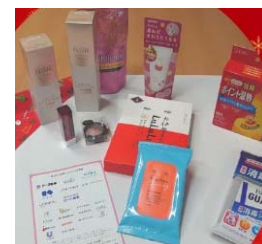
2 講座等

講座名	開催日	内 容	参加者数 ()内は男性
相談員スキル アップ研修	9月3日 10月15日 12月11日	県内相談機関の相談員を対象に、女性の立場を理解し、ジェンダーに敏感な視点を持って相談業務ができるよう研修を実施するとともに相談員の連携を図った。 ①性的マイノリティ相談の基礎知識 ②相談員が知っておきたいLGBTs支援のための法知識 ③思春期・青年期のトランスジェンダーの方への対応と多職種連携 ＜講師＞ ①原ミナ汰（NPO法人共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク共同代表理事） ②川竹佳子（弁護士） ③中塚幹也（岡山大学大学院保健学研究科教授）	54名 (19)
相談関連講座	7月31日 8月7日	相談から見えてくる問題について、社会の中で女性が置かれている立場や状況を女性自身が考え、社会参画する力を身につける講座を実施した。 よりよい関係を築くコミュニケーション講座 ＜講師＞ 小柳茂子（相模女子大学教授／公認心理師）	23名 —
相談関連講座 【オンライン】	2月4日	家族間のコミュニケーションをテーマとして、DV・虐待等の暴力予防、深刻化を防ぐことを目的に講座を実施した。 「イライラ」や「怒り」にさようなら～怒りと上手に向き合うアンガーマネジメント講座～ ＜講師＞ 石井真奈（アンガーマネジメントコンサルタント）	会場 20名 (3) オンライン 21名 (4)
女性の居場所 づくり事業	① 6月6日 ② 7月11日 ③ 9月26日 ④ 11月21日 ⑤ 1月16日 ⑥ 3月13日	トラウマやコロナ禍など、何らかの傷つきから生活や就労の場でつまづき、生きづらさや働きづらさを感じている女性に、自尊感情の回復や必要なスキルを身に付ける場となる講座を実施した。 余剰化粧品品の無償提供により女性を支援する「コスメバンクプロジェクト」と連携し、コスメキットを参加者に配付し女性の居場所づくり事業「ゆるりのしっぽ」 ①私の好きな一冊 ②カラーを知って夏を爽やかに ③からだをゆるめてココロをととのえる ④これまでのワタシ、これからの私 ⑤ゆるりと学ぶ「女性支援新法」 ⑥わたしのココロの声を聴く ＜講師＞ ①ソーレ職員 ②玖波井加代子（カラーコーディネーター＆多目的スペースペーパーミントクラブ） ③竹村朝海（臨床心理士／公認心理師） ④山下由香（高知家の女性しごと応援室キャリアコンサルタント／産業カウンセラー） ⑤中島香織（弁護士） ⑥竹村朝海（臨床心理士／公認心理師）	73名 —

アン
ガ
ー
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト



女
性
の
居
場
所
づ
く
り
事
業



コスメバンクプロジェクト
提供化粧品セット

Ⅶ 関係団体等の相互の交流の促進及び自主的活動への支援に関する業務

1 団体等の自主活動支援事業（ソーレえいど事業）

男女共同参画の推進に資する事業を実施した団体等の活動を支援するため、1団体に対し助成した。

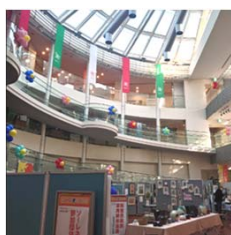
（第1回：応募1団体 採択なし、第2回：応募1団体 採択1団体）

助 成 団 体 名	事業内容	助成額
特定非営利活動法人 井戸端わもん	（講演、ワークショップ） 女性の輝きを応援する こころとカラダの元気づくり講座	100,000円
計		100,000円

2 ソーレまつりの開催

ソーレ開館を記念し講演会を開催したほか、利用団体等の活動発表や作品展示、イベント等を実施しセンターを広く県民に周知した。（館内及びオンラインで開催）

事業名	開催期間	内 容	参加者数 ()内は男性
ソーレ まつり 2023	基調講演	1月14～29日 【録画配信】 「時代の先端を走り抜けた女性アーティストたちー20世紀初頭のロシア・アヴァンギャルド」 <講師> 沼野恭子(東京外国語大学教授)	オンデマンド 256名
	記念講演会	1月21日 会場視聴・ライブ配信(ZOOM) 「こんな世の中に誰がした？上野千鶴子の怒りの皿鉢盛り！」 <講師> 上野千鶴子(社会学者、東京大学名誉教授)	会場 79名 (14) オンライン 190名 (27)
	団体企画	委託先：こうち男女共同参画ポレール (講座) 親子でご飯づくり～お出汁をとって一汁三菜の料理を作ろう～	会場 29名 (6)
		(講演会) 「民権ばあさん楠瀬喜多と女性参政権」	会場 42名 (10)
	団体活動の 発表	1月21～22日 ・ワークショップ ・ステージ ・パザール ・パネル展示 ・作品展示	2 団体 4 団体 10 団体 1 団体 2 団体
		1月14～29日 ・アトリウム展示	6 団体
		【録画配信】 ステージ発表 【録画配信】 活動紹介	5 団体 5 団体
	参加者数の合計（オンラインは視聴1回を1名として集計） 会場1,417名 オンライン2,255名		3,672名 (57)



ソーレまつり2023
館内及びオンラインイベントの実施



発行／高知市市民協働部 人権同和・男女共同参画課
2024 年（令和 6 年）3 月発行